



SUSTAINABILITY REPORT 2024



代表挨拶

KINKAN GROUP

CEO 西村 忠浩



このレポートを手にとってくださっている皆様におかれましては、日頃より当グループの活動に多大なるご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。早いもので2024年も終わりを迎える中、今年もサステナビリティレポートを発刊することが出来ました。心より御礼申し上げます。

さて、今年も世界と日本の両方で多くの変化がありました。持続可能な開発目標 (SDGs) の推進、そして社会全体の気候変動に伴う脱炭素化への取り組みがますます重要視される中、私たち廃棄物管理の役割はこれまで以上に大きなものとなっております。

今年の夏、日本国内は例年以上に厳しい暑さに見舞われ、多くの地域で異常気象が観測されました。気候変動の影響がますます顕在化する中で、私たちの業界は、その影響を受けやすい社会インフラの一端を担っています。廃棄物の適切な収集と処理が、環境保護の観点からも、地域社会の安全と健康を守るためにも、非常に重要であることを改めて認識しております。



また、国際的な視点では、気候変動に関する国際会議などが開かれ、各国が温室効果ガスの削減目標を掲げ、地球規模での持続可能性に向けた行動を加速しています。この流れの中で、日本も再生可能エネルギーの普及や、脱プラスチックへの取り組みを強化しており、廃棄物処理業である我々の役割は一層重要なものとなっております。

当グループにおいても、このような状況を踏まえ、持続可能な社会に貢献できる企業として、全ての業務の見直しや改革に取り組んでおります。具体的には、廃棄物の収集・運搬における効率化、資源のリサイクル推進、そして廃棄物の最終処分を少しでも減らし、環境負荷を低減するなど、幅広い分野での改善を進めてまいりました。また、デジタル技術の導入により、廃棄物管理は元より、経理や労務管理にも効率的なリソース配置を実現し、より一層の業務効率化を図っております。

これまでの取り組みを通じて、私たちキンカングループはお客様や地域社会と共に歩み、持続可能な未来を築くための一翼を担っていることを強く感じております。しかし、これからも持続可能性の追求に終わりはなく、次世代へとより良い社会を引き継ぐために、私たちは常に未来に向けて邁進してまいります。

結びに、私たちはこれからもステークホルダーの皆様と密接に連携しながら、地域社会と環境に貢献する企業であり続けることをお約束いたします。皆様からの更なるご支援と改善へのご意見を頂くことを、今後も心よりお願い申し上げます、ご挨拶に代えさせていただきます。

KINKAN GROUP SUSTAINABILITY

キンカングループのサステナビリティレポートは、幅広いステークホルダーの皆さまに、当社のサステナビリティ推進方針や考え方・目標・体制・具体的な取り組みを深く理解していただくことを目的としています。

また、キンカングループでは、「事業活動を通じて社会の期待に応えていくことが、その持続可能性(サステナビリティ)を保ち、更なる成長につながる」と認識しております。このような考えのもと、前年度の取り組み内容を中心にSDGsへの貢献を意識しつつ、「サステナビリティレポート」でご報告します。

【目次】

-
- 1 代表挨拶
 - 4 グループ概要
 - 6 方針・基本的な考え方
-
- 7 サステナビリティの推進・体制
 - 14 **MATERIALITY** ゼロカーボン社会の実現に向けて
 - 16 **MATERIALITY** インクルーシブ社会の実現に向けて
 - 20 **MATERIALITY** 自然との共生社会の実現に向けて
 - 24 **MATERIALITY** 責任ある地域社会の一員として
 - 28 **MATERIALITY** 資源循環から循環経済へ
 - 32 **MATERIALITY** これからも信頼されるキンカングループへ
 - 36 GRI対照表
 - 38 専門家評価
-
- 40 近畿環境保全(株) 営業部
 - 41 近畿環境保全(株) リユース事業部
 - 42 近畿環境保全(株) 環境事業部【物流課】
 - 43 近畿環境保全(株) 環境事業部【施設課】
 - 44 (有)ラゴ
 - 45 キンカンビジネスアソシエイツ(株)
 - 48 (株)湖南リサイクルセンター
-
- 52 サービス一覧
 - 54 廃棄物処理事業【収集運搬事業】
 - 55 廃棄物処理事業【少量廃棄物プラン】
 - 56 PCBトータルサポート事業
 - 58 環境ソリューション事業
 - 60 ホーム/オフィスサポート事業
-
- 62 産業廃棄物許可エリア・許可品目
 - 64 収集運搬車両
 - 66 キンカングループ パフォーマンスデータ
 - 69 問合せ先一覧



【報告対象期間】

2023年5月1日～2024年4月30日

【報告対象範囲組織】

近畿環境保全株式会社 株式会社湖南リサイクルセンター
有限会社ラゴ キンカンビジネスアソシエイツ株式会社

【発刊時期】

2024年9月(次回発行予定:2025年9月)

【参考ガイドライン】

GRI Standards/SDG Compass

【サステナビリティレポート お問い合わせ窓口】

近畿環境保全株式会社 管理部総務グループ
〒525-0027 滋賀県草津市野村1丁目3番2号 SKキューブ2-B
Email: secretary@kin-kan.co.jp

【 KINKAN GROUPについて 】

廃棄物の収集運搬から中間処理を手掛け、排出事業者への営業活動を行っている「近畿環境保全株式会社」を中心に、県下最大級の処理能力を有し、廃棄物の選別・破碎を得意とする「株式会社湖南リサイクルセンター」、先代の創業である京都市内で事業系一般廃棄物を業とする「有限会社ラゴ」、グループの特例子会社であり、ダイバーシティを率先している「キンカンビジネスアソシエイツ株式会社」の4社体制で事業展開をしています。

経営理念

人と地球に「いい」コミュニケーションパートナー
E-COmmunication partner

私たちは廃棄物処理業を通して、お客様の事業活動を支え、頼られる存在であり続けるために、自然や地域社会との共生を深め、常に未来に向かって前進していきます。

経営方針

当グループでは、以下の3つの方針に沿って、事業活動を推進してまいります。

環境の 

環境を最優先に
物事を運びます。

感動の 

感動がないと
人は動きません。

改革の 

改革なくして
発展はありません。

社員がより働きやすい環境で仕事ができるよう、労働環境の改善や福利厚生を高め、安心してやりがいを感じられる職場にしていきます。また、社員が自分に誇りを持てるよう、社会貢献活動や教育活動にも力を入れ、持続可能な社会の構築に寄与していくことを誓います。

【グループ概要】

近畿環境保全株式会社

会社概要

会社名	近畿環境保全株式会社
創業	1962年5月1日
設立	1975年6月11日
代表者	代表取締役社長 西村 忠浩
資本金	1,600万円
売上高	103,033万円(2024年4月決算)
従業員数	58名(2024年4月時点)
所在地	本社及び草津資源循環センター／滋賀県草津市青地町196番地 グループ管理本部／滋賀県草津市野村1丁目3番2号 SKキューブ2-B 営業本部／滋賀県草津市大路2丁目13番27号 辻第3ビル5F 石部営業所／滋賀県湖南市石部口2丁目277番1号 京都営業所／京都府京都市南区上鳥羽南鉾立町14番地2 リユース事業部／京都府京都市南区上鳥羽角田町55番地3

沿革

1962年	前代表の西村裕司が「西村商店」として京都市内で廃棄物回収の事業を開始
1975年	近畿環境保全株を設立
1981年	本店を現在の草津市青地町へ移転
1994年	滋賀県で産業廃棄物中間処理業の許可を取得 破砕機と焼却炉で事業を開始
1998年	中間処理業の許可に品目を追加(廃プラスチックと感染性廃棄物の焼却)
2002年	石部町(現:湖南市)に近畿環境保全株石部リサイクルセンターを竣工 2003年より本格的に事業開始
2005年	京都市における一般廃棄物収集運搬会社を分社し、(有)ラゴを設立 石部リサイクルセンターを別法人「(株)湖南リサイクルセンター」へ
2009年	西村忠浩が近畿環境保全株の代表取締役社長に就任 西村裕司が近畿環境保全株の代表取締役会長に就任
2013年	食品リサイクル施設「F.R.O.Gセンター」を竣工
2016年	近畿環境保全株が産業廃棄物収集運搬業の優良認定を取得
2021年	営業本部を草津市大路へ移転 グループ管理本部を草津市野村へ移転 京都営業所を京都市南区上鳥羽南鉾立町へ移転
2022年	創業60周年を迎える
2023年	リユース事業部を京都市南区に新設

CSR活動のあゆみ

2005年	ISO14001認証取得
2006年	廃植物油の回収・BDFプロジェクト開始
2007年	小学校における環境学習の開始 びわ湖環境ビジネスメッセ参加開始※2020年度より休止
2008年	社内環境ポイント制度開始 カーボンオフセット開始(内モンゴルにて植林)※2017年度終了
2009年	環境報告書の第一号を発行 琵琶湖森林づくりパートナー協定締結※2022年度終了 愛する地球のために約束する協定締結 滋賀グリーン購入ネットワーク入会
2010年	ヨシでびわ湖を守るネットワーク参加 循環型社会創造研究所えこらとの協同事業開始 滋賀レイクスターズ スポンサー活動開始
2011年	いしべ共働作業所 障害者雇用開始
2013年	コナン市民共同発電所へ出資
2014年	環境事業部駐車場の屋根に太陽光発電パネル設置
2017年	滋賀ユナイテッドベースボールクラブスポンサー活動開始 草津宿場まつり かごかきレースに参加
2018年	(特非)国際ボランティア学生協会ivusa主催の外来水生植物の除去活動に参加 ヨシ灯り展に参加 プラスチック・スマート登録
2019年	琵琶湖森林づくりパートナー交流イベント開催
2020年	琵琶湖森林づくりパートナー協定 2年間延長
2021年	しがCO ₂ ネットゼロムーブメント賛同 マザーレイクゴールズ(MLGs)賛同
2022年	事業継続力強化計画認定を取得 <受賞歴> 1996年 (公社)全国産業廃棄物連合会 地方優良事業所表彰 受賞 2011年 第3回草津市地球温暖化防止大賞 優秀賞 受賞 第2回しが低炭素リーダー賞 受賞 2012年 第4回草津市地球温暖化防止大賞 優秀賞 受賞 2014年 (公社)全国産業廃棄物連合会 青年部協議会 CSR2プロジェクト コンプライアンス部門 受賞 社会貢献部門 受賞 2022年 全国植樹祭にて、「琵琶湖森林づくりパートナー協定」感謝状 受賞



株式会社湖南リサイクルセンター



会社概要

会社名	株式会社湖南リサイクルセンター
代表者	代表取締役 西村 忠浩
資本金	1,000万円
売上高	47,854万円(2024年2月決算)
従業員数	26名(2024年2月時点)
所在地	滋賀県湖南市石部口3丁目6番13号

沿革及びCSR活動のあゆみ

2002年	石部町(現:湖南市)に近畿環境保全(株)石部リサイクルセンターを竣工 2003年より本格的に事業開始
2005年	近畿環境保全(株)石部リサイクルセンターを別法人「(株)湖南リサイクルセンター」へ
2008年	廃木材をチップ化しリサイクルする新工場(株)ぎぶらを(株)湖南リサイクルセンター内に竣工
2016年	処理棟へのLED照明の導入
2020年	産業廃棄物処理業の優良認定を取得
2021年	プラスチック・スマート登録
2022年	事業継続力強化計画認定を取得 小学校における環境学習(施設見学)の開始 大型破砕機と機械式選別機の導入
2023年	琵琶湖森林づくりパートナー協定締結

有限会社ラゴ



会社概要

会社名	有限会社ラゴ
代表者	取締役 西村 美代子 取締役 西村 忠浩
資本金	300万円
売上高	5,316万円(2023年8月決算)
従業員数	2名(2023年8月時点)
所在地	本社/滋賀県草津市青地町196番地 京都営業所/京都府京都市南区 上鳥羽南鉦立町14番地2

沿革及びCSR活動のあゆみ

2005年	(有)ラゴを設立
2021年	京都サンガF.C.スポンサー活動開始 (京存共栄パートナー(ACADEMY)) 京都営業所を京都市南区上鳥羽南鉦立町へ移転

キンカンビジネスアソシエイツ株式会社



会社概要

会社名	キンカンビジネスアソシエイツ株式会社
代表者	代表取締役 西村 忠浩
資本金	300万円
売上高	12,627万円(2024年5月決算)
従業員数	35名(2023年5月時点)
所在地	滋賀県草津市青地町196番地

沿革及びCSR活動のあゆみ

2018年	キンカンビジネスアソシエイツ(株)を設立
2022年	相談支援事業所ぽアソ開所
2023年	障害者雇用優良中小事業主(もにす)認定取得

KINKAN GROUP グリーン経済宣言

すべてのモノは必要とされている。

すべてのヒトが必要とされている。

グリーン経済は「廃棄物」がない、すべてが資源として循環する経済です。

キンカングループは滋賀や周辺地域のグリーン経済を支える環境ソリューション企業として、資源の循環がスムーズに行われるよう、資源を必要としている人に確実につないでいきます。

そして、資源のつながり、人のつながり、社会のつながりをより強く、

確実なものとして、持続可能な滋賀経済を支えます。

1. グリーン経済の要となって資源循環を回していきます。

- 世の中に不要なゴミなどない。すべてが資源として活用されるよう、循環させます。
- 既存の資源循環を担うだけでなく、これまで資源化できなかったものを資源化することに努めます。
- 必要な資源が必要な人の手に容易に渡るよう、ITを含め、先進技術を積極的に活用します。
- 古くからあった循環のしくみや知恵を掘り起こし、現代に活かします。
- 「廃棄物」からエネルギーを回収し、再生可能なエネルギーの供給にも取り組みます。

2. 地域の中で循環させます。

- 資源はもちろん、お金もできる限り地域の中で循環させます。
- 地域からの雇用を優先します。
- 地域にあるものは、地域から調達します。
- 資源循環を通じて、地域の困りごとを解消します。

3. 人を育て、人を生かします。

- 私たちは「すべての人は必要とされている」と考えています。誰もが、自分の特性や個性にあった働きがいのある仕事をできるよう、仕事の種類や働き方をカスタマイズします。
- ITを活用するなどして、人は自分の特性が生かせる仕事に専念できるようにします。
- 資源循環のプロフェッショナルを育て、社内のみならず、地域の課題解決を加速させます。
- 子どもたちが資源循環や環境について学ぶことを支援します。すべてのモノ、そしてすべてのヒトが必要とされていることを伝えます。

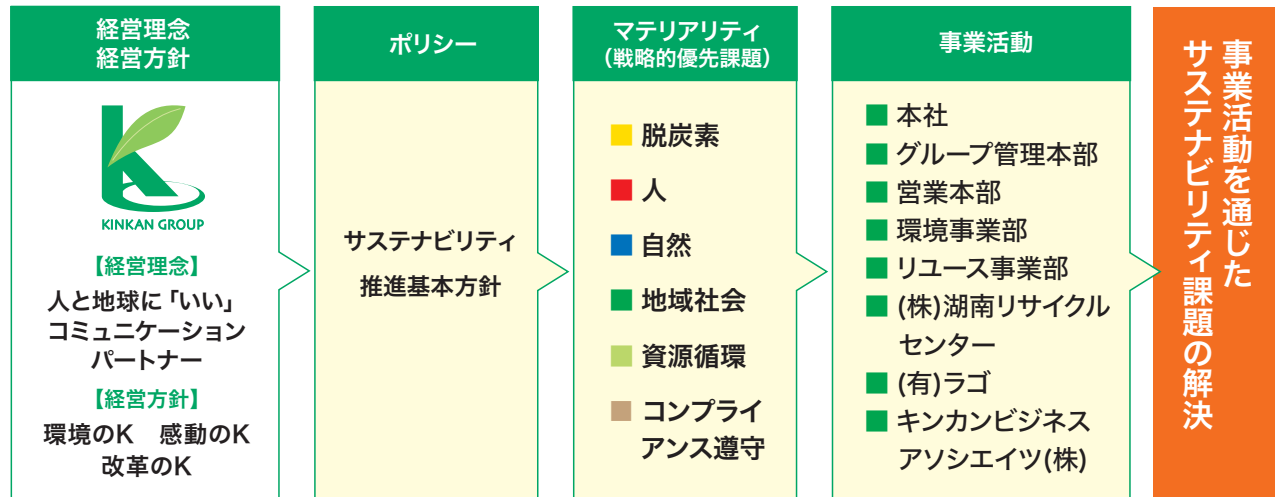
4. 美しく、自然の豊かな滋賀を取り戻し、作ります。

- ゴミのない、美しい街・美しい地域を作ります。
- 弱ってしまった自然資源の循環が、再びスムーズに進むようにするため、社内外の仲間と力を合わせます。

KINKAN GROUP のサステナビリティ推進

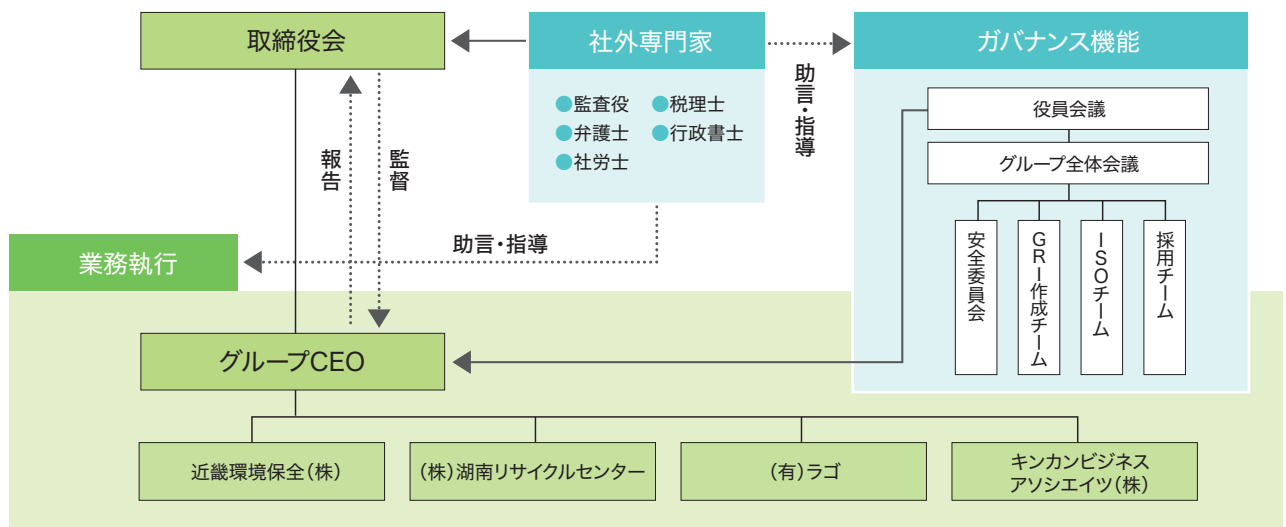
企業理念や外的環境の変化を踏まえたキンカングループのサステナビリティ推進の方向性を「KINKAN GROUP グリーン経済宣言 (P6)」として定め、組織的・体系的に推進しています。

また、推進する上で、キンカングループが優先的に解決すべき重要課題として定めたマテリアリティを「戦略的優先課題」に落とし込み、事業活動を通じて、課題解決につなげています。



KINKAN GROUP のサステナビリティの体制

キンカングループでは、サステナビリティ推進のための施策は、「GRI作成チーム」が企画・立案し、役員会議で決定の下、各組織の責任者及び推進担当者が実行していきます。また方針の策定や重要な案件については、主要な社内チームの一つである「GRI作成チーム」で審議・決定しています。定期的な報告会の開催に加え、社内外のステークホルダーとの対話を図ることによって当社に対する社会の期待や要請を把握し、それらをサステナビリティ推進に活かしています。



GRI作成チーム

西村忠浩 大森高志 山本拓樹 田中良太 河村昂介 住田秀人 田代杏奈 吉永由香里
 始田和司 大槻美歩 厚母春花 高橋一希 橋谷田拓人 車昇一 田村聖子

【サステナビリティへの取り組み】

KINKAN GROUP のマテリアリティ(戦略的優先課題)

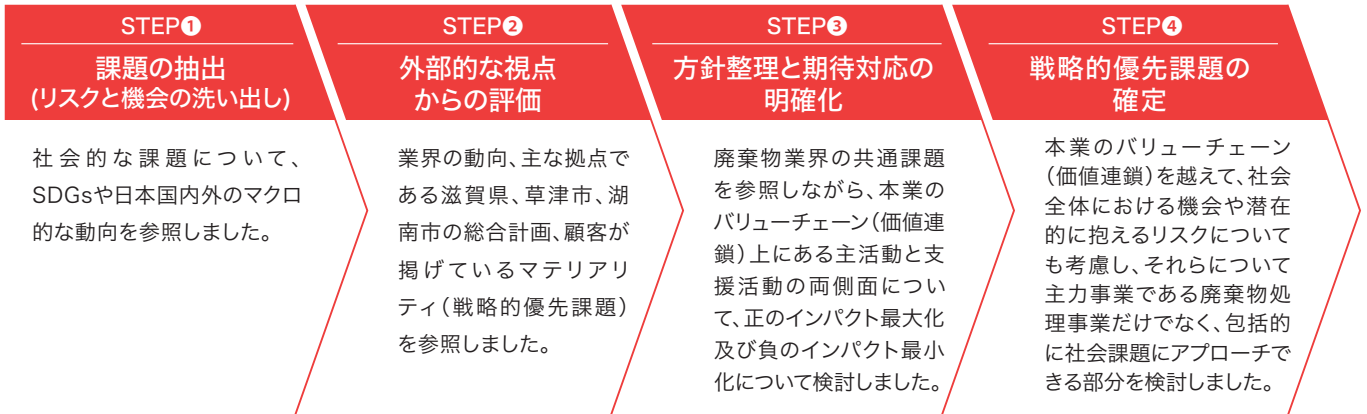
キンカングループは2021年のCSR報告書から「サステナビリティレポート」への変更時に、役員会議並びにGRI作成チームでキンカングループのマテリアリティを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通して取り組み、持続可能な社会に貢献していきます。

現在と未来の責任を果たすためにキンカングループのサステナビリティへの取り組みは、2015年に国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)達成にも寄与しています。

<p>■ 脱炭素</p> <p>ゼロカーボン社会実現に向けて、温室効果ガス排出量削減に取り組みます。</p>  	<p>■ 人</p> <p>誰もが活躍できる職場環境を整備します。</p>   	<p>■ 自然</p> <p>滋賀県のシンボルである琵琶湖の生態系保全のため、琵琶湖システムに参画しています。</p>        
<p>■ 地域社会</p> <p>循環社会の情報発信を行うことで、地域社会との共生を進めています。</p>       	<p>■ 資源循環</p> <p>廃棄物を資源と考え、リサイクル再利用などを活用し、循環型社会を目指します。</p>    	<p>■ コンプライアンス遵守</p> <p>ステークホルダーを含めた社会全体からの要請に応じていきます。</p>    



マテリアリティの選定プロセス



マテリアリティごとのリスクと機会



【マテリアリティにおける社会へのインパクト】

マテリアリティ	インパクト分類	
▶ 脱炭素	▶ GHGの排出量	
	▶ 気候変動への機会	
▶ 人	▶ 労働慣行	
▶ 自然	▶ 森林保全活動	
	▶ 琵琶湖保全活動	
▶ 地域社会	▶ 事業説明	
	▶ 地域貢献	
▶ 資源循環	▶ 優良認定制度	
	▶ 許可品目	
	▶ 処理能力	
	▶ 事業計画	
▶ コンプライアンス遵守	▶ コンプライアンス	

インパクト記載

日本政府の掲げる「カーボンニュートラル宣言」を実現し、2050年までにGHG排出量を実質ゼロにする。さらに、排出量削減に貢献するビジネスの積極推進を通じ、2040年までに「オフセットゼロ」を目指すことにより、気候変動による影響低減に貢献する。

事務所及び営業所に太陽光発電システムを設置し、気候変動の影響低減に貢献する。

荷受け作業等に使用するリフトの電動化により化石燃料からの脱却を目指して、気候変動への影響低減に貢献する。

営業車を持たない戦略やハイブリット車・電気自動車の活用により、気候変動への影響低減に貢献する。

定期的な車両の入れ替えにより、平成27年度燃費向上基準達成車を導入し、運搬部門のGHGの削減に貢献する。

クラウドの利用推進を図り、紙の削減や輸送コストを削減し、気候変動への影響低減に貢献する。

あらゆる差別禁止、育児・介護・疾病等のある社員も活躍できる環境整備により、多様な人材の活躍を支援する。

労働衛生サービスの充実による社員の健康増進、現場の労働安全衛生マネジメントシステムによる衛生・労働安全の確保を推進する。

労働基準の浸透、働き方改革、福利厚生の充実により、労働生産性及び社員エンゲージメントの向上を推進する。

全ての階層に対するグローバル視点の研修プログラムと、目標管理による人事制度の開発・活用により、優秀な人材の育成を推進する。

公正な採用・ハラスメント防止・人権研修・ホットライン設置により、人権に関する負のインパクトを軽減する。

三雲生産森林組合等と参画し、森林の環境保全活動を通して負の影響を防止する。

ヨシ刈り等の琵琶湖保全活動に参画し、水質改善や生物多様性への負の影響を防止する。

新規事業や事業投資、環境影響調査、建築基準法第51条関連の開示やサプライチェーンの透明性を高めることにより地域住民に対する負の影響を防止する。

地域社会に対する社会貢献活動の推進を図り、地域社会への教育、啓蒙活動等に貢献する。

経営に関しての透明性や適正な処理における情報開示によりステークホルダーの期待に応える。

多種多様な廃棄物を運搬できることによって、ステークホルダーの期待に応える。

処理施設の能力向上（処理量の増加、選別精度の向上）により、ステークホルダーの期待に応える。

経営に対する実効性の高い監督を務めると共に、意思決定の透明性を高める。また、適正かつ効率的な業務を執行し、持続的に成長することでステークホルダーの期待に応える。

グループリスクマネジメント体制の構築と、継続的な業績の維持により、ステークホルダーの期待に応える。

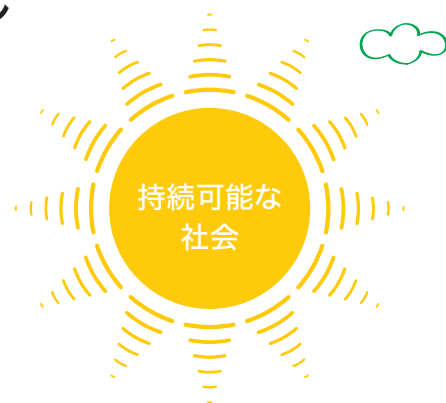
社員の意識の醸成によりコンプライアンスを遵守し、経済への悪影響を低減する。

【サステナビリティへの取り組み】

サステナビリティの位置付けと創造価値モデル

当グループは、事業活動の一部である「資源循環」「コンプライアンス遵守」の2つと、「脱炭素」「人」「自然」「地域社会」の4つを戦略的優先課題(マテリアリティ)として設定しました。

これらのマテリアリティに取り組むことで持続可能な社会を実現し、社会から必要とされる企業になることを目指します。



ステークホルダーエンゲージメント

お客様	<ul style="list-style-type: none"> ●営業活動(随時) 営業担当者によるお客様のニーズを把握 ●お客様相談窓口(随時) 電話やメール、問い合わせフォームからの相談に対応 ●自社ホームページ、SNS等(随時) 自社の事業内容や具体的な取り組みについて発信、「産廃情報ネット さんばいくん」での情報開示
ビジネス パートナー	<ul style="list-style-type: none"> ●セミナー等への参加(随時) 業界団体や取引先が主催・参加するセミナーにおいて、持続可能な取り組みを共有、意見交換 ●パートナーミーティング(随時) 株主・金融機関・外部専門家へ事業ハイライト・財務状況を開示、意見交換
地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ●近隣住民への事業説明会(随時) 自社事業の理解促進、意見交換 ●普及啓発活動(随時) 各学校へESD教育提供を通じた対話や施設見学の対応 ●地域交流(随時) 地域イベントへの積極的な参加・寄付 ●外部組織との協労(随時) 社会のニーズを把握したうえで、SDGsに資する取り組みについて連携
環境	<ul style="list-style-type: none"> ●業界団体への参加(随時) 関連する団体やイニシアチブに参加し、情報収集や意見を交換 ●施設見学の実施(随時) 施設見学の受け入れにより、環境に配慮した事業運営の理解を促進
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ●ミーティング(随時) 決算報告や今後の経営方針について従業員に周知、従業員の要望を確認、勉強会等の実施 ●社員総会(年1回) 決算報告や今後の経営方針と事業戦略について全従業員に周知、部門間での相互理解を促進

所属している業界団体や会員制団体(順不同)

- (一社)滋賀県産業資源循環協会
- (一社)日本PCB全量廃棄促進協会(JPTA)
- (一社)廃棄物管理業協会
- エコスタッフ・ジャパン(株)
- (一社)滋賀グリーン活動ネットワーク
- (公社)滋賀県環境保全協会
- 湖南・甲賀環境協会
- 京都環境事業協同組合
- 産業廃棄物処理業経営塾OB会
- 滋賀経済同友会
- 滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合
- 草津商工会議所
- 草津ライオンズクラブ
- (公社)草津青年会議所
- 湖南市商工会議所
- しがしごと応援団



賛同している目標・ムーブメント・協定

- SDGs
- MLGs
- イクメンプロジェクト
- しがCO₂ネットゼロムーブメント
- 琵琶湖森林づくりパートナー協定
- プラスチック・スマート



認定を受けている制度

- 各種廃棄物処理業許可
- ISO14001
- 事業継続力強化計画認定
- 令和4年度しが生物多様性取組認証
- 障害者雇用優良中小事業主認定(通称もにす認定)



ゼロカーボン社会の
実現に向けて



目標

- 2030年までに温室効果ガスの排出量を2021年度比で約30%削減する。
- 2050年までに温室効果ガスの排出量をグループ全体で実質ゼロにする。

脱炭素社会への挑戦

当グループは2021年2月に「しがCO₂ネットゼロムーブメント」に賛同し、太陽光発電やBDFプロジェクトを継続することでCO₂の排出抑制に寄与してきました。

2022年度はゼロカーボンへ挑戦するための1年目として、報告期間内のエネルギー使用量及びGHG(温室効果ガス)排出量を可視化することを始めました。

今後は2021年度及び2023年度の数値を比較し、2050年のゼロカーボンへの道筋を立てていきます。



エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



びわ湖のためにも
温室効果ガスの
排出を減らそう

社外コメント コマツカスタマーサポート(株) 近畿四国カンパニー 栗東支店支店長 兼 米原支店支店長 田村 和紀様

コマツのフォークリフトは、高い稼働時間とパワフルなパフォーマンスを誇り、通常のバッテリーフォークリフトでは対応しきれない現場や、厳しい作業環境でもその力を発揮します。これにより、エンジン式フォークリフトからのスムーズな転換を促進し、企業の環境負荷削減に大きく貢献します。今後も地域社会と連携し、環境保全活動を積極的に推進し、KINKAN GROUP様と共に良い地球と未来の実現に向けて努力を続けてまいります。



太陽光発電

社内設置太陽光パネル/市民共同発電所式号機への出資

当グループの洗車場施設に約12kwの太陽光パネルを設置しています。また新しく建設した京都営業所にも太陽光パネルを設置しました。2023年度の発電量は8,901kWhでした。これは、およそ2.79tのCO₂発生抑制に寄与したと算出することができます。

2013年に私たちの施設がある湖西市でのプロジェクト「市民共同発電所式号機」に出資しました。2023年度の発電量は110,927kWhで、プロジェクト全体では34.38tのCO₂を発生抑制したと換算することができます。出資者として、地域の再生可能エネルギー事業に協力しながら、地域の活性化への支援になればと考えています。



2023年度市民共同発電所式号機【発電量】110,927kWh

CO₂
発生抑制量
34.38t

BDFプロジェクト

地域における循環型社会を目指し、2006年度から廃植物油を回収しています。回収した廃植物油は油藤商事(株)にてバイオディーゼル燃料(BDF)へ精製してもらい、地域のクリーンエネルギーとして利用されています。2023年度は8,050ℓの廃植物油を回収しました。バージン燃料の代わりにBDFを使用することにより、20.93tのCO₂削減に繋がりました。

CO₂に
換算すると
20.93t

2023年度
【廃植物油回収量】
8,050ℓ

脱炭素への一歩
電動式フォークリフトを購入



推定年間
CO₂低減量
3.0t

2023年9月に(株)湖南リサイクルセンターにてグループ初の電動式フォークリフトを導入しました。従来と比べて、CO₂排出量約60%の低減が可能になります。今後もカーボンニュートラルの取り組みとして計画的に導入していきます。

■ 燃料使用料

開示項目	対象	重油				ガス				ガソリン				軽油			
		2021年度	2023年度	2021年度対比	単位	2021年度	2023年度	2021年度対比	単位	2021年度	2023年度	2021年度対比	単位	2021年度	2023年度	2021年度対比	単位
非再生可能エネルギー由来による総燃料消費量	キンカングループ	8,924.93	2,729	-6,195.93	ℓ	22	28.50	6.50	m³	6,199	19,666	13,466	ℓ	339,850	386,689	46,839	ℓ
	近畿環境保全(株)	34	0	-34	ℓ	22	27.50	5.50	m³	2,500	13,559	11,059	ℓ	287,549	296,378	9,931	ℓ
	(株)湖南リサイクルセンター	8,890.93	2,729	-6,161.93	ℓ	0	0	0	m³	940	3,809	2,869	ℓ	27,087	72,902	45,815	ℓ
	(有)ラゴ	0	0	0	ℓ	0	0	0	m³	2,759	0	-2,759.29	ℓ	25,214	16,308	-8,906.18	ℓ
	キンカンビジネスアソシエイツ(株)	0	0	0	ℓ	0	1	1	m³	0	2,297	2,297	ℓ	0	0	0	ℓ
再生可能エネルギー由来による総燃料消費量	キンカングループ	0	0	0	ℓ	0	0	0	m³	0	0	0	ℓ	0	1,102	1,102	ℓ
エネルギー原単位(廃棄物処理量あたりのエネルギー使用量)	キンカングループ	0.735	0.180	-0.55	ℓ/t	0.00181	0.00194	0.00013	m³/t	0.510	1.34	0.83	ℓ/t	25.8	26.44	0.64	ℓ/t
エネルギー原単位(売上あたりのエネルギー使用量)	キンカングループ	6.04	1.63	-4.41	ℓ/百万円	0.0149	0.0170	0.0021	m³/百万円	4.20	11.77	7.57	ℓ/百万円	212	231.44	19.44	ℓ/百万円
エネルギー総消費量(発熱量ベース)	キンカングループ	12,377	15,460	3,083	GJ												

■ 電力使用料

開示項目	対象	電力			
		2021年度	2023年度	2021年度対比	単位
電力消費量	キンカングループ	282,045	460,396	178,351	kWh
	近畿環境保全(株)	103,240	124,029	20,789	kWh
	(株)湖南リサイクルセンター	178,805	331,978	153,173	kWh
	(有)ラゴ	0	2,639	2,639	kWh
	キンカンビジネスアソシエイツ(株)	0	1,750	1,750	kWh
販売した電力	キンカングループ	11,641	7,565	-4,076	kWh
エネルギー原単位(廃棄物処理量あたりの電力使用量)	キンカングループ	23.2	31.49	8.29	kWh/t
エネルギー原単位(売上あたりの電力使用量)	キンカングループ	191	275.56	84.56	kWh/百万円

●近畿環境保全(株)のエネルギー消費量はキンカンビジネスアソシエイツ(株)のエネルギー消費量を含んでいる。●近畿環境保全(株)の電力使用量は(有)ラゴの電力消費量を含んでいる。●再生可能エネルギー由来による総燃料消費量については、キンカングループ内の企業すべてゼロ。●対象「キンカングループ」と記載している項目の数値は、キンカングループ4社合計の数値。●売上は、キンカングループ4社連結の金額である。尚、各社それぞれの決算の金額を採用している。
※GJ=ギガジュール
※ジュールの換算出典:環境省「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」
※2021年度は2021年5月~2022年4月
※2023年度は2023年5月~2024年4月

開示事項	対象	総量		
		2021年度	2023年度	単位
GHG Scope1総量(①+②)+GHG Scope2(ロケーション基準)総量	キンカングループ	984	1,268	t-CO ₂
GHG Scope1総量(①+②)+GHG Scope2(マーケット基準)総量	キンカングループ	969	1,280	t-CO ₂
①購入した燃料の燃焼に伴うGHG排出量	キンカングループ	847	1,066	t-CO ₂
	近畿環境保全(株)	679	811	t-CO ₂
	キンカンビジネスアソシエイツ(株)	-	5	t-CO ₂
	(株)湖南リサイクルセンター	96	207	t-CO ₂
	(有)ラゴ	71	43	t-CO ₂
②非エネルギー起源GHG排出量	キンカングループ	0	0	t-CO ₂

開示事項	対象	ロケーション基準		マーケット基準		
		2021年度	2023年度	2021年度	2023年度	単位
GHG Scope2総量	キンカングループ	137	202	122	214	t-CO ₂
	近畿環境保全(株)	50	54	45	58	t-CO ₂
	キンカンビジネスアソシエイツ(株)	-	1	-	1	t-CO ₂
	(株)湖南リサイクルセンター	87	145	77	154	t-CO ₂
	(有)ラゴ	0	1	0	1	t-CO ₂
GHG Scope2 CO ₂ 原単位排出量(廃棄物処理量あたりの二酸化炭素排出量)	キンカングループ	0.0810	0.0867	0.0798	0.0875	t-CO ₂ /t
GHG Scope2 CO ₂ 原単位排出量(売上あたりの二酸化炭素排出量)	キンカングループ	0.666	0.758	0.656	0.766	t-CO ₂ /百万円

●GHG(温室効果ガス)プロトコルを使用して算定。●算定範囲は、キンカングループ内のScope1及びScope2の二酸化炭素排出量とする。●対象「キンカングループ」と記載している項目の数値は、キンカングループ4社合計の数値。●近畿環境保全(株)のGHG排出量(Scope2)は、(有)ラゴのGHG排出量(Scope2)を含んでいる。●近畿環境保全(株)のGHG排出量はキンカンビジネスアソシエイツ(株)のGHG排出量を含んでいる。●キンカングループ内の企業は、いずれも非エネルギー起源の二酸化炭素排出量は0t-CO₂。●ロケーション基準及びマーケット基準の数値は切り上げ。●原単位排出量は、全体のみ算出とする。●売上は、キンカングループ4社連結の金額である。尚、各社それぞれの決算の金額を採用している。
※排出係数の出典:環境省「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」 ※2021年度は2021年5月~2022年4月 ※2023年度は2023年5月~2024年4月

対象	取水:水道水			対象	排水:下水道		
	2021年度	2023年度	単位		2021年度	2023年度	単位
キンカングループ	3,929	3,676	m³	キンカングループ	3,929	2,508	m³
近畿環境保全(株)	2,167	2,238	m³	近畿環境保全(株)	2,167	1,130	m³
(株)湖南リサイクルセンター	1,745	1,346	m³	(株)湖南リサイクルセンター	1,745	1,346	m³
(有)ラゴ	17	87	m³	(有)ラゴ	17	27	m³
キンカンビジネスアソシエイツ(株)		5	m³	キンカンビジネスアソシエイツ(株)		5	m³

●社屋の都合上、近畿環境保全(株)の数値にはキンカンビジネスアソシエイツ(株)の数値を含む。●対象「キンカングループ」と記載している項目の数値は、キンカングループ4社合計の数値。
※2021年度は2021年5月~2022年4月 ※2023年度は2023年5月~2024年4月

社員コメント 近畿環境保全(株) 環境事業部 施設課 唐橋 光

湖南リサイクルセンターでは、2023年9月に電動式フォークリフトを導入しました。従来の燃料式よりも電気式の方が燃料費、CO₂の排出量も少なく、稼働中の音も静かで騒音対策の面でも日々の作業で大きな違いを実感します。代替燃料のRPFやセメント原燃料を生産しているので、今後は製品を生み出す過程で燃料の使用量を減らし、脱炭素へ切り替えていきたいと思ひます。また、個人の取り組みとしてフォークリフトのアイドリングストップや、機械の電源をつけたままにしないなど日々の小さいことから行動を起こしていきたいと思ひます。



インクルーシブ社会の 実現に向けて

目標

- 2030年までにグループ全体で女性管理職の割合を40%とする。
- 2050年までにグループ全体で管理職登用も含め多様な人材が活躍できる職場環境の実現。

成長できる職場づくり

当グループを支える社員1人ひとりのスキルアップがお客様へのより良いサービスに繋がると考え、社員教育に力を入れています。

当グループでは、年数や経験を積むことで成長を感じられる仕組みをつくり、自身のもつ「知識」と「経験」を「知恵」に変えていけるよう、成長を促していきたいと考えています。社員それぞれが持っている能力を最大限に発揮し、自信を持って働くことができる環境を目指し、働いてよかったと実感出来る環境づくり、そして人財づくりを目指しています。



資格取得の支援



資格支援制度を設けて、社員のスキルアップを図っています。これは業務に必要な資格を取得する費用を会社が負担する制度です。今年度は延べ27名の社員が制度を利用して資格を取得しました。

資格取得実績

取得年月	取得人数	取得資格名
2023年6月	3名	ESJセールス検定
2023年7月	5名	廃棄物管理士
2023年8月	13名	ESJセールス検定シルバークラス
2023年10月	2名	石綿作業主任者
2024年2月	2名	建築物石綿含有建材調査者講習(一般)
2024年4月	2名	廃棄物管理士

社内研修の実施



社内研修では、社会人として求められるマナーをはじめ、業務に必要な不可欠なことを中心に学んでいます。グループ全体で研修を行うことで、サービスの品質向上を目指しています。

社内研修実績(オンライン含む)

実施年月	参加人数	内容
2024年4月	1名	新入社員研修
2023年10月	19名	ISO研修
2023年11月	3名	ISO研修
2023年11月	17名	テールゲートリフター特別教育(実技)
2023年12月	3名	テールゲートリフター特別教育(実技)
2024年1月	20名	テールゲートリフター特別教育(学科)
2024年1月~	10名	GRI研修
2024年2月	10名	優先的課題戦略会議
随時	6名	ISO要求事項及び当社の取り組み

社外研修の活用

社外研修も積極的に活用しています。2022年度よりオンライン研修サービスを導入したことで、研修機会の増加、社内にはない分野を含めた幅広い知識の習得に繋がっています。

業務内容や役職に合わせたプログラムに参加することで更なるスキルアップを目指し、最新のトレンドの考え方を学んでいます。



社外研修実績(オンライン含む)

実施年月日	参加人数	内 容	主催者	研修時間	研修費用(円)
2023.5~2024.1	1名	産業廃棄物処理業経営塾	(公財)産業廃棄物処理事業振興財団	48時間	550,000
2023.6.29~7.1	1名	ESJセールス研修	エコスタッフジャパン(株)	10時間	11,220
2023.6	2名	先進事業所訪問研修	(一社)滋賀県産業資源循環協会	16時間	15,000
2023.7.14	1名	青年部観察研修	(一社)滋賀県産業資源循環協会	8時間	25,000
2023.7.19	1名	産業廃棄物処理事業者育成研修(初級講座)	(一社)滋賀県産業資源循環協会	3.5時間	0
2023.7.21	3名	営業支援EXPO	RX JAPAN	3時間	0
2023.7	5名	廃棄物管理士講習会	(一社)滋賀県産業資源循環協会	7時間	0
2023.8.23	13名	ESJセールス検定	エコスタッフ・ジャパン(株)	2時間	180,460
2023.9.13	4名	産業廃棄物処理事業者育成研修(中級講座)	(一社)滋賀県産業資源循環協会	3.5時間	0
2023.10~2024.3	3名	営業成果を出すための5ステップトレーニング	(株)帝国データバンク	24時間	99,000
2023.10.19	2名	事前調査普及&ASA認定調査者制度開始オンラインセミナー	(一社)建築物石綿含有建材調査者協会	2.5時間	0
2023.10.25	1名	テールゲートリフター特別教育インストラクター養成講座	陸上貨物運送事業労働災害防止協会	6.5時間	45,100
2023.11	1名	上智大学セミナー	上智大学	4時間	0
2023.11.8	1名	令和5年度経営塾OB会 第2回施設見学勉強会	産廃経営塾OB会	2時間	10,000
2023.11.10	1名	廃棄物処理業におけるカーボンニュートラル実践研修会	エコスタッフ・ジャパン(株)	2.5時間	1,500
2023.11.14	1名	先進事業所訪問研修	(一社)滋賀県産業資源循環協会	7時間	9,000
2023.11.14	2名	先進事業所訪問研修	(一社)滋賀県産業資源循環協会	7時間	12,000
2023.11.14	1名	経営者と幹部が共に成長し成果につなげる極意	JPSA滋賀びわ湖支部	2時間	1,000
2023.11.16	1名	安全運転管理者講習	滋賀県交通安全協会	6時間	4,500
2023.11.16	3名	副安全管理者講習	(一社)滋賀県安全運転管理者協会	7時間	4,500
2023.11.21	2名	追突事故、バック事故を考える	エコスタッフ・ジャパン(株)	3.5時間	0
2023.11.21~11.22	2名	第68回ESJドライバー研修会	エコスタッフ・ジャパン(株)	7時間	8,000
2023.11.22	3名	産業廃棄物処理業育成研修 中級講座	(一社)滋賀県産業資源循環協会	3.5時間	0
2023.11.28	3名	salesforceワールドツアー	salesforce	3時間	0
2024.1	1名	サーキュラーエコノミー研修	滋賀県環境保全協会	3時間	0
2024.1.24	1名	ESJマネージャー研修	エコスタッフ・ジャパン(株)	2時間	3,300
2024.1.24	3名	ESJ新年の集い	エコスタッフ・ジャパン(株)	4時間	33,000
2024.2.9	1名	暴力団対策講習		3時間	9,350
2024.2.16	1名	サスティナ勉強会	Greenprop	4時間	0
2024.2.16	2名	ESJ廃掃法研修会	エコスタッフ・ジャパン(株)	4時間	7,000
2024.2.28	2名	リチウムイオン電池等による事故と対策	芝田事務所	1時間	0
2024.3	1名	さんばいフォーラム	(公社)大阪府産業資源循環協会	3時間	0
2024.4.3	1名	令和6年度 新入社員研修	草津商工会議所	3時間	0
2024.3	5名	WEBマーケティング	(株)ナレッジリスリキング	10時間	0
2024.3	5名	AIを活用した業務効率化	(株)ナレッジリスリキング	10時間	0
2024.4.12	1名	産業廃棄物経営塾同期会石坂産業見学会	(公財)産業廃棄物処理事業振興財団	8時間	0

人事評価制度

当グループでは人事評価クラウドシステムを導入しています。

この評価制度では会社からの数値目標だけでなく、社員それぞれが自ら設定した行動目標の達成を目指します。評価基準を明確にして目標達成度を数値化することで客観的な評価を行い、給与や賞与、昇進を決定しています。自ら行動目標を設定することにより自覚と責任感が生まれ、職場環境の改善と顧客満足度向上、売上や利益の増加の指標になります。

チーム制度の業務

正社員には通常の配属とは別に「チーム制」を設けています。これは社内改革の一環で、一つのことだけに限るよりも複数の業務に関わったり、出向などを経験することでより多くのスキルが得られると考えているためです。

各部門から選ばれたメンバーを中心に「学ぶ機会」を提供するために設けた制度です。「時間がない、機会がない、わからない」という消極的な意識をチーム制にすることで、どんな仕事も責任のある業務の一環であるという認識を持ってもらうことを狙っています。

現在は新卒採用の企画や運営を行う「採用チーム」、60周年を機にCSR報告書からサステナビリティレポートへとバージョンアップした報告書を作成する「GRI作成チーム」などが組織されています。

チームで学んだ経験や能力で、将来また違った部署や部門などでも活躍できる人“財”が育つことを期待しています。

インクルーシブ社会の 実現に向けて

目標

- 2030年までにグループ全体で女性管理職の割合を40%とする。
- 2050年までにグループ全体で管理職登用も含め多様な人材が活躍できる職場環境の実現。

誰もが活躍できる職場づくり

当グループはダイバーシティ&インクルージョンの実現を目指しています。そのためには国籍、性別、障害の有無などはもちろんのこと、一人ひとりの「違い」を認めることが必要で、それにより成長しています。

誰もが自分の持つ能力を最大限に発揮し、自信を持って働くことができる職場を目指しています。加えて、社員それぞれが安心して働くことができ、家庭やプライベートな時間を大切にしながら活躍できる職場づくりも進めています。



すべての人に
健康と福祉を



働きがいも
経済成長も

障害者雇用枠で働く社員の活躍



2018年にキンカンビジネスアソシエイツ(株)を設立して以来、継続的に障害者雇用を行っています。企業内籍型職場適応援助者や障害者職業生活相談員を配置し、安心して働ける環境を整備しています。

キンカンビジネスアソシエイツ(株)には障害者雇用枠で働く社員が6名在籍し、主に草津資源循環センターと(株)湖南リサイクルセンターで活躍しています。

福祉事業所との連携



当グループは就労支援団体と連携し、福祉事業所へ通所している方々が安心して働ける安全な職場を提供しています。週に数回、毎回2～5名の方がお越しになり、当グループの社員と共に仕事をしています。

2022年度よりしあわせ作業所に加えて、(学)関西福祉学園働き教育センターともご縁があり、就労支援を提供する支援企業としてお手伝いをしています。

また、上記以外の福祉事業所の見学や職場実習も随時受け入れており、企業で働くということを知ってもらう機会も提供しています。

シニア社員の活躍



当グループは60歳を定年としていますが、本人の希望があれば再雇用を行っています。再雇用の年齢の上限は設けず、本人の希望と健康状態に配慮して業務内容や勤務時間、出勤日数を調整しています。

現在、60歳から76歳の方が元気に活躍しています。また、業務内容も施設での作業やドライバー、営業など多岐にわたっています。

社員コメント

キンカンビジネス
アソシエイツ(株)
エコパートナー事業部

石井 健太郎



この会社に入社してから、作業を実施していく中で意欲的に考えながら行動できるスキルが身についたと実感しています。また、作業の進め方やより効率性の高い方法について同僚や先輩のやり方を参考にし、工夫することで正確性や作業スピードを意識しながら仕事に取り組むことができるようになりました。

今後は広い視点を持てるよう現状の仕事に関する知識を蓄えると同時に、作業面だけでなく多様なことに挑戦していきたいです。

外国人社員の活躍



当グループには多数の外国人社員が期間社員として所属し、主に(株)湖南リサイクルセンターで活躍しています。

業務マニュアルは社員の母国語に翻訳し、社員全員で業務手順や事故防止対策を共有しています。様々な国籍の社員が協力しながら作業を行っています。

社員コメント

キンカンビジネス
アソシエイツ(株)
エコパートナー事業部

宿谷 昌志



この会社に入社して43歳で入社し、68歳になった今でも同じように働くことができています。定年を迎えて嘱託社員になってからも変わらず同じように働くことができており、キンカンには感謝しています。

自分の「働き方」に応じて出勤日数や出勤時間を変更することができているので、身体が元気なうちは働き続けながらリサイクルに貢献していきたいと思っています。

子育て社員の活躍



育児休業取得実績

3回取得 ▶ 1名 1回取得 ▶ 2名
2回取得 ▶ 2名 産後パパ育児 ▶ 2名

※2010年5月からの実績です。

当グループは仕事と家庭の調和を大切にすることを「基本行動原則」に掲げ、育児をしながら仕事をする社員を応援しています。

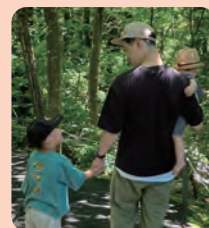
2022年には育児・介護休業法の改正によって産後パパ育児が施行されました。

子が生まれてから8週間以内に、最大で4週間の育児を2回に分割して取得できる制度です。主に男性を想定している制度ですが、男女関係なく育児休業を利用できるように環境を整え、復職後も仕事と家庭を両立できる職場づくりに努めています。

社員コメント

近畿環境保全(株)
環境事業部

河村 昂介



二人目の子どもが産まれた2023年5月に一ヶ月間「産後パパ育児」制度を利用しました。産後間もない妻の体と心の負担を少しでも軽くしたいと思ったと同時に、産まれて間もない子供の成長をすぐそばで見られるのはとても貴重だと思い、自分の為にも利用することにしました。

また、突然母を独り占めできなくなった上の子にとっても両親がそばにいてくれることによって、一緒に保育園に行ったり、遊ぶ時間が多く取れてよかったのではないかと思います。

この制度を利用するにあたって部署に迷惑が掛かるのではないかと危惧していましたが、上司をはじめ同僚が理解し、快く協力してくださったことにも大変感謝しており、とても素敵な時間を過ごすことができました。

自然との共生社会の
実現に向けて



目標

- 2030年までに全社員が琵琶湖システム[※]の推進に関わる活動に参画する。
- 2050年までにグループ内での活動が琵琶湖システム[※]のひとつとなる事業を実現すること。

琵琶湖システムへの参画

当グループは滋賀県で活動する地域密着型の企業として、地域と共に発展したいと考えています。その考えのもと、滋賀県のシンボルであり人々の生活を支えている琵琶湖を守ることをテーマにCSR活動を続けています。

また、2021年には「しがCO₂ネットゼロムーブメント」に加えて、琵琶湖版SDGsといわれている「MLGs」への賛同を宣言しました。これからも地域に根ざした活動を通して持続可能な社会の実現を目指していきます。



安全な水とトイレを世界中に



海の豊かさを守ろう



水辺も湖底も美しく



森川里湖海のつながりを健全に



水とつながる折りを暮らしを次世代に

びわ湖を美しくする運動



毎年7月1日の「びわ湖の日」にちなんで行われる「びわ湖を美しくする運動」に参加し、琵琶湖周辺の清掃活動を行っています。河川から琵琶湖へ流れ着いたり、レジャーの際に放置されたごみが散乱している状況は今もまだ続いています。特にコロナ禍におけるアウトドア活動の増加により、琵琶湖を訪れる人々が増え、その結果、ゴミの量も増加しました。それらのゴミを拾うことでマイクロプラスチックの減少や水鳥などの生物環境を整えることにも繋がっています。

- 2023年度:2023年6月1日 6名参加
- 2022年度:2022年7月1日 4名参加
- 2021年度:2021年7月1日 5名参加

社員コメント

近畿環境保全(株)
営業部
植西 美咲季



烏丸半島で行われた、「びわ湖の日」にちなんだ環境美化活動に参加しました。弊社だけでなく、多くの企業や団体も参加していて、県内における環境意識の高さを実感しました。

近年では、海洋プラスチック問題も注目されていますが、滋賀県は海が無いとはいえ、琵琶湖のゴミが海に流れる可能性を考えると、他人事ではいけないと思います。自分の行動によって、環境改善に少しでも近づくと信じて、これからも継続して参加していきます。

※琵琶湖システムとは

琵琶湖周辺の水田は、琵琶湖の固有種であるニゴロブナなどの湖魚に絶好の繁殖環境を提供してきました。こうした水田やヨシ帯などに向かってくる湖魚の生態を巧みに利用してきた「エリ漁」は、資源にやさしい伝統的な「待ちの漁法」の代表格です。また、河川に遡上する湖魚の産卵環境の保全に寄与する多様な主体による森林保全の営みや琵琶湖の環境に配慮した農業など、森、川、水田、湖のつながりは、世界的に貴重なものです。このような琵琶湖と共生する農林水産業（琵琶湖システム）は、千年以上に渡って受け継がれてきたもので、2019年2月に「日本農業遺産」に認定され、2022年7月にFAO(国連食糧農業機関)の「世界農業遺産」に認定されました。

ヨシ刈り



■2023年度:2024年2月10日・24日 15名参加 ■2022年度:2023年2月25日 8名参加
 ■2021年度:新型コロナウイルスの影響により中止



2010年より「ヨシでびわ湖を守るネットワーク」のメンバーとしてヨシ刈りに参加しています。

琵琶湖のヨシ刈りは、自然との共生社会の実現を目指す取り組みの一環です。冬にこの活動を行うことで、水質浄化機能や生物多様性が維持されます。さらに、刈り取ったヨシは当社で使用している名刺や他の製品に再利用されるため、資源の有効活用にも貢献しています。環境保全を意識しながらヨシ刈りに参加し、地域社会の一員として環境保護に貢献することで、琵琶湖システムへの参画意識を深めることができます。

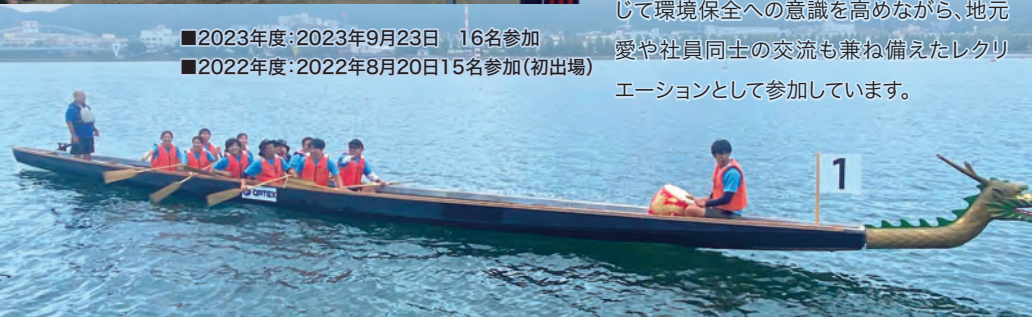
2023びわこペーロン大会



■2023年度:2023年9月23日 16名参加
 ■2022年度:2022年8月20日15名参加(初出場)

琵琶湖を守る活動だけでなく、琵琶湖に親しみ・遊ぶ機会も必要と考え、びわこペーロン大会へ出場しています。本大会は滋賀県大津湖岸なぎさ公園サンシャインビーチで開催され、全国屈指の有力チームが熱戦を繰り広げる一方で、気軽に琵琶湖を感じられるレクリエーションとして、参加する方も多いイベントです。

琵琶湖と関わる様々な活動「びわ活」を通じて環境保全への意識を高めながら、地元愛や社員同士の交流も兼ね備えたレクリエーションとして参加しています。



外部コメント

(株)コクヨ工業滋賀
 総務グループ

福島 亘様



活動趣旨に賛同し、ヨシ刈りボランティアに多くの方の参加をいただき感謝しております。企業、団体を越え、同じ思いで活動する楽しさや、やりがいに繋げていただくと幸いです。

まずは続けること、将来に繋げていくことを我々の使命として、今後も続けていきたいと思えます。この環境活動以外にも積極的に環境活動を実施されていることに敬意を表します。引き続き一緒に取り組みを継続させていきましょう。今後よろしく願い申し上げます。

社員コメント

近畿環境保全(株)
 管理部

吉永 由香里



今回初めてヨシ刈りに参加しました。2月なので寒いかもと防寒対策をして行きましたが、天候に恵まれ作業しやすかったのでありがたかったです。

ヨシは思ったより硬めで、刈り取るのに結構力があるし、長いので、束ねるのにもとても苦労しました。束ねたヨシを運ぶのも見た目より重くて大変でした。ただ、ヨシを刈り取った後の風景は、琵琶湖がすぐそばに見え、達成感がありました。琵琶湖の自然を体感でき、貴重な経験となりました。

社員コメント

近畿環境保全(株)
 営業部

李 昌寿



仕事以外で何かを共にやり遂げることは、より一層チームワークが強くなると思っているので、普段仕事をしている仲間とペーロン大会に参加することは、いい機会だと考えています。

また、私自身を含め多くの人は、普段生活をしている中で琵琶湖を見ることはあっても、直接関わることが少ないのではないかと思います。ペーロン大会は船に乗り、オールで漕ぐので、水の抵抗や水飛沫等、琵琶湖を直に感じることができ、良い感動体験を味わうことができます。

自然との共生社会の 実現に向けて



目標

- 2030年までに全社員が琵琶湖システムの推進に関わる活動に参画する。
- 2050年までにグループ内での活動が琵琶湖システムのひとつとなる事業を実現すること。

琵琶湖の生態系の保全

当グループは滋賀県で活動する地域密着型の企業として、琵琶湖を守ることをテーマにCSR活動を続けてきました。

森林整備に参画することは、琵琶湖の生態系保全に直接貢献することが出来ます。森林は水源涵養機能を持ち、琵琶湖に流入する水の質を向上させ、土砂の流出を防ぎます。これにより、湖内の生物多様性が維持され、漁業や観光業など地域経済にも良い影響を与えます。持続可能な社会の実現に向けた地域社会との協働の一環として、これからも参画していきます。



恵み豊かな水源の森を守ろう



びわ湖を楽しみ愛する人を増やそう



つながりあって目標を達成しよう



琵琶湖森林づくりパートナー協定

2009年より三雲生産森林組合の皆さまと「琵琶湖森林づくりパートナー協定」を結び、琵琶湖の水源である森林保全活動を行っています。森林整備にかかる費用と労力を提供し、一緒に整備活動を行っています。

下草刈りなどの整備をすることで森林のCO₂吸収機能が向上し、地球温暖化防止の効果も高まります。協定による森林整備の内容は滋賀県庁森林政策課に報告し、滋賀県知事よりCO₂吸収証書を受領しています。



- 2023年度: 2023年11月25日 三雲生産森林組合 7名 キンカングループ 11名
- 2022年度: 2022年10月1日 三雲生産森林組合 5名 キンカングループ 11名
- 2021年度: 新型コロナウイルスの影響により中止

琵琶湖森林づくりパートナー交流会

自然環境を守り続けるためには自然環境の大切さを会社全体で共有し、環境への関心を高める必要があります。そこで、三雲生産森林組合の皆さまとの交流会を企画しています。イベントを通して自然の中で楽しい時間を過ごすことで自然について考えたり、自然を守りたいと思うきっかけを作りたいと考えています。



※天保義民とは… 天保義民とは、天保年間に重税や飢饉に苦しむ農民たちが領主に直訴した事件に関与した農民のことで、彼らは命を懸けて村人の救済を求めた結果、後に義民(英雄的な存在)として称えられました。

- 2019年3月9日 第一回交流会
(バーベキュー、椎茸の植菌体験、森林整備)
- 2019年10月26日 第二回交流会
(バーベキュー、燻製体験、椎茸の原木の本伏せ、森林探索と炭づくり体験、森林整備)
- 2021年3月23日 椎茸収穫
新型コロナウイルス感染防止の観点から代表数名で実施しました。収穫した椎茸は交流会参加者に配布しました。
- 2022年3月28日 椎茸収穫
新型コロナウイルス感染防止の観点から代表数名で実施しました。収穫した椎茸は交流会参加者を中心に社員に配布しました。
- 2023年3月24日 椎茸収穫
新型コロナウイルス感染防止の観点から代表数名で実施しました。収穫した椎茸は社員に配布しました。
- 2023年11月25日 天保義民*の碑を見学
森林整備に携わったメンバーと共に見学ツアーを開催しました。



社員コメント

(株)湖南リサイクルセンター
ペレイラ ジュリオ ユウジ

長い草が多くて刈り取るのが大変でしたが、三雲生産森林組合の方と一緒に協力することによってスムーズに作業を進めることができました。11月後半ということもあって紅葉がとても綺麗で、自然の恵みを感じられる貴重な時間となりました。

終わった後に、少し山を登り、特別に山頂付近の天保義民の碑に案内、説明をしてもらいました。とても古そうで大きかったのが印象的でした。次回参加する時は、草刈り機を使ってみたいです。

琵琶湖森林づくりパートナー協定 感謝状の受領

2022年6月5日、滋賀県甲賀市にある鹿深夢の森にて開催された第72回全国植樹祭にキンカングループCEO西村が出席しました。

三雲生産森林組合と近畿環境保全(株)との琵琶湖森林づくりパートナー協定が10年間続いたことを表彰していただき、「琵琶湖森林づくりパートナー協定感謝状」を受領しました。



令和4年度しが生物多様性取組認証の取得

※有効期限3年

琵琶湖に関するCSR活動は生物多様性の取り組みにも通じるところがあると感じ、これまでのCSR活動や事業活動を滋賀県に報告した結果、令和4年度しが生物多様性取組認証を取得することができました。

近畿環境保全(株)では星3つ、(株)湖南リサイクルセンターでは星2つという高い評価をいただいています。評価に甘んじることなく、環境保全活動を継続・発展させ、生物多様性についても取り組んでいきます。



責任ある地域社会の一員として



目標

- 2030年までに地域での環境学習を2021年度比で2倍にする。
- 2050年までにステークホルダーと協力して、滋賀県全域での環境学習を実施する。

循環型社会を目指すための情報発信

当グループは循環型社会を目指す情報発信を行うことで、地域社会との共生が進みます。これにより、環境に配慮した取り組みが地域に浸透し、地域住民や企業間での協力関係が強化されます。また、循環型経済の実現に向けた当グループの努力が評価され、地域内外からの支持や信頼が向上します。これにより、ブランド価値の向上や新たなビジネス機会の創出が期待でき、持続可能な成長に貢献します。



12 つくる責任
つかう責任

つくる責任
つかう責任



17 パートナリシップで
目標を達成しよう

パートナーシップで
目標を達成しよう



6 水と衛生を
美しく

水辺も湖底も
美しく



13 つながりあって
目標を達成しよう

つながりあって
目標を達成しよう

環境研修への派遣

循環型社会を目指す情報発信のため、自社セミナーの実施や環境イベントへの出展、または講師として環境研修への参加を行っています。

2023年度は2回、環境研修の講師として派遣され、「低濃度PCB廃棄物の処理と対策について」講演させて頂きました。地元地域の法人、団体の方と情報交換を行い、異業種交流を兼ねることもできました。



■甲賀管内:2023年11月13日(月) ■南部管内:2023年11月22日(水)

WEBセミナー・オンライン視察の実施

新型コロナウイルスによりオンライン活動が劇的に発展しました。その一つであるWEBセミナーは2021年度より継続して実施しています。PCB廃棄物を含め、廃棄物の適正処理推進のために各回少人数制で開催し、参加者の皆様の疑問にお答えします。またオンライン視察を取り入れ、遠方のステークホルダーにも届くように工夫しております。



スポーツチームスポンサー

地域密着型の企業として「スポーツを通して地域を盛り上げたい」という想いから、地元のプロスポーツチームのスポンサー活動を行っています。地域貢献とステークホルダーへの認知度向上に繋がるよう活動の輪を広げています。

滋賀レイクス

2010年よりスポンサー活動を開始しました。
2023年11月11日、12日に冠ゲームパートナーを務めました。



外部コメント

(株)滋賀レイクスターズ
代表取締役社長

原 毅人様



滋賀レイクスは滋賀県初のプロスポーツクラブとして、現在日本バスケットボールのトップリーグである「B.LEAGUE」に所属しているチームです。

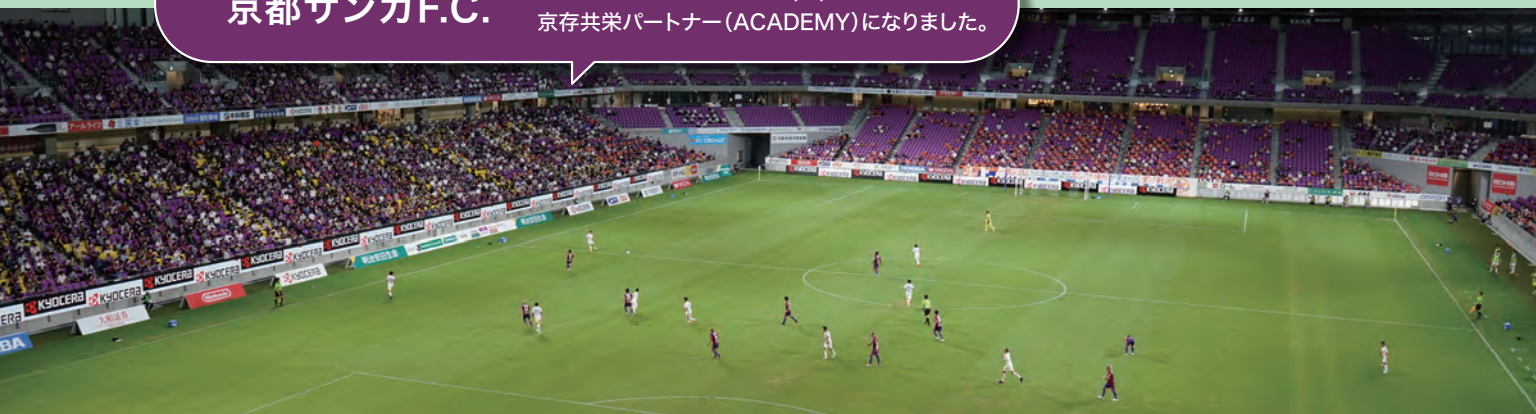
滋賀県に根差した様々な活動をしている同社との長く強固なパートナーシップのもと、昨年は「草津市民無料招待デー」を開催頂き、スポーツを通じた地域の活性化に貢献をいただきました。

今季はB1に復帰をし、また皆様のサポートを大きな力に変え奮闘してまいります。



京都サンガF.C.

2021年5月より(有)ラゴが
京存共栄パートナー(ACADEMY)になりました。



責任ある地域社会の一員として



目標

- 2030年までに地域での環境学習を2021年度比で2倍にする。
- 2050年までにステークホルダーと協力して、滋賀県全域での環境学習を実施する。

次世代につないでいく教育

持続可能な社会を実現するためには未来に健全な地球環境や資源を残すだけでなく、環境保全の重要性を伝えていく必要があります。

そこで、「地域社会に根ざす廃棄物処理業者」である当社ならではの体験型学習を通して、子どもたちがゴミや環境に興味を持つきっかけになる学習の場を提供しています。



質の高い教育をみんなに



つくる責任つかう責任



水辺も湖底も美しく



生業・産業に地域の資源を活かそう



地元も流域も学びの場に

出前授業や体験学習の実施



■2023年11月10日 比叡山高校 体験学習



県内の学校に赴き、環境学習やキャリア学習の授業を行っています。過去12年間で11校の小中学校や養護学校へ訪問し、合計23回の出張授業を実施しました。

今年度は滋賀県大津市にある比叡山高校の1年生を対象に職業体験(オンライン)と講話を実施しました。「体験を通して、自分のキャリアや職業を考える機会」として、代表の思いや社員の業務紹介、営業職を体験するグループワークも交えながら廃棄物処理業についてお伝えしました。

施設見学の対応



環境学習を目的とした施設見学にも対応しています。2023年度は湖南市立石部小学校が来社され、廃棄物処理の現場や仕事の様子を見学されました。



■2023年6月18日 湖南市立石部小学校 環境学習((株)湖南リサイクルセンターにて)

ごみゼロカーボンゼロ研究コンクール in滋賀に協賛



2023年9月に実施された「第2回ごみゼロカーボンゼロ研究コンクールin滋賀」は滋賀県内の小学生・中学生を対象に、ごみや地球温暖化に関する研究や作品を募集するコンクールです。応募する小学生・中学生だけでなく、応募作品を通して我々大人も循環型社会について考えられる企画だと感じて協賛しています。

■2023年12月3日
キラリエ草津にて

外部コメント

湖南省立石部小学校

板鼻 良太様



（株）湖南リサイクルセンターでの校外学習を通じて、わたしたちの住みよい暮らしのためには、働く人々の工夫や努力があることを学びました。

地域の施設を見学させていただくことで、子どもたちの生活と環境学習が、より現実感を持って結びついたのではないかと考えています。リサイクルに関する地域企業の取り組みを知ることにより、知識だけでなく、今後も地域で生活していく子どもたちの行動にも、良い変化があることを期待しています。

外部コメント

比叡山高校
総務部

岸 隆雄様



比叡山高等学校の校訓の一つである「一隅を照らす」言葉には、今、そこにいるその場所や立場で、ベストを尽くして照らすことによって、社会が光る意味があります。1年生の授業科目「探究学習」では、まず、業種・職種、企業の歴史、仕事内容、福利厚生等を事前に調べ、約20社から選択した企業を訪問し、説明・見学・質疑応答を受け、未来に繋げるキャリア教育を実施しています。

昨年度は、近畿環境保全株式会社様を訪問し、西村忠浩社長による会社説明を受けました。県内の事業系一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬業務を行うことにより、地域社会・地球環境に貢献されておられる説明を受け、質疑応答を行いました。

参加生徒からは、西村社長自らの説明を受け、膨大な廃棄物処理、手作業、障害者雇用もしなければならないなど労働の実態を肌感覚で学べ、琵琶湖の本当の美しさを守りたいとの感想がありました。

インターンシップの実施

2023年12月6日と2024年2月7日に冬季webインターンシップを開催しました。「地域密着型企業とSDGs」をテーマにセミナーやワークショップ、グループディスカッションを実施。2日間で合計7名の学生が参加しました。

学生の皆様が社会に出るにあたり、自分に合ったよりよい将来を選択できるよう、社会の仕組みについて学べる機会を提供したいと考えています。



■2023年12月6日 営業本部にて

社員コメント

近畿環境保全(株)
営業部 営業二課

厚母 春花



出張授業や（株）湖南リサイクルセンターの施設見学では、積極的に参加してくれる姿を見ることができました。

日常生活から生じる廃棄物がどのようになるのか、普段見ているゴミ収集車の仕組みがどうなっているのかの説明に対して、たくさん質問してくれたことで、私たちの日頃の取り組みに興味を持ってくれたのではないかと思います。

これからも、子どもたちに良い経験をしてもらえるように一生懸命取り組んでいきたいです。

資源循環から循環経済へ



目標

- 2030年までにグループで取り扱う廃棄物の再資源化率を60%にする。
- 2050年までにグループで取り扱う廃棄物の最終処分を実質ゼロにする。

サーキュラーエコノミー
実現に向けて

私たちは廃棄物の再資源化・リサイクルを推進し、循環型社会の実現を目指しています。

今年度の処理実績を調査し、過去の実績と比較することで、当グループの取り組みについて客観的に分析しました。



住み続けられるまちづくりを



つくる責任
つかう責任



水辺も湖底も美しく



再生原料となる廃棄物のリサイクル
草津資源循環センター

草津資源循環センターでは主に再生原料となる段ボールや缶、ビン、ペットボトル、発泡スチロール等のリサイクルに向けた処理を行っています。2023年度は前年度より129.3t増加しました。

2021年6月から取り組みを開始したペットボトルのボトルtoボトルリサイクルの影響を受け、ペットボトルのリサイクル量は毎年増加しています。ボトルtoボトルの詳細については本誌43ページをご覧ください。

再生原料となる廃棄物 リサイクル量		
2021年度 2152.2t (対象期間:2021.5-2022.4)	2022年度 2139.0t (対象期間:2022.5-2023.4)	2023年度 2,268.3t (対象期間:2023.5-2024.4)
内 訳		
段ボール …1346.4t	段ボール …1352.0t	段ボール …1494.9t
古紙 (P雑紙、P新聞、シュレッダー、雑誌) …391.4t	古紙 (P雑紙、P新聞、シュレッダー、雑誌) …358.1t	古紙 (P雑紙、P新聞、シュレッダー、雑誌) …352.8t
缶 (アルミ、CP、缶) …104.6t	缶 (アルミ、CP、缶) …91.5t	缶 (アルミ、CP、缶) …76.5t
ビン (茶色ビン、白色ビン、その他ビン) …88.1t	ビン (茶色ビン、白色ビン、その他ビン) …108.7t	ビン (茶色ビン、白色ビン、その他ビン) …112.7t
ペットボトル (PET) …164.3t	ペットボトル (PET、フレーク) …175.2t	ペットボトル (PET、フレーク) …174t
発泡スチロール (PS、PS-インゴット) …12.4t	発泡スチロール (PS-インゴット、雑色) …18.2t	発泡スチロール (PS-インゴット、雑色) …15.1t
キャップ (エコキャップ) …0.5t	キャップ (エコキャップ) …0.8t	キャップ (エコキャップ) …0.8t
金属 (鉄、被覆線) …44.5t	金属 (鉄、被覆線) …34.5t	金属 (鉄、被覆線) …41.5t





産業廃棄物の再資源化 (株)湖南リサイクルセンター

2020年度より処理設備の改善をはじめとした施設リニューアルに取り組み、受け入れ量の拡大と再資源化率の向上を推し進めてきました。結果、全ての数値が上昇し、資源循環への貢献度も高まりました。今後、近隣地域の持ち込み業者や排出事業者の皆様さらに活用頂けるように取り組んでいきます。

(株)湖南リサイクルセンター搬入重量		
2021年度 11,866.3t <small>(対象期間:2021.3-2022.2)</small>	2022年度 12,346.8t <small>(対象期間:2022.3-2023.2)</small>	2023年度 14,322.2t <small>(対象期間:2023.3-2024.2)</small>
産業廃棄物 再資源化率		
2021年度 52.19% <small>(対象期間:2021.3-2022.2)</small>	2022年度 56.53% <small>(対象期間:2022.3-2023.2)</small>	2023年度 73.15% <small>(対象期間:2023.3-2024.2)</small>
セメント・RPF向け処理実績		
2021年度 2,025t <small>(対象期間:2021.3-2022.2)</small>	2022年度 2,819.5t <small>(対象期間:2022.3-2023.2)</small>	2023年度 5,245.0t <small>(対象期間:2023.3-2024.2)</small>

外部コメント

(株)金本商会
工場長

脇元 正光様



当社では、廃棄される紙やプラスチックを原料とした石炭代替燃料「RPF」を製造しており、近年資源循環の一環として注目されています。RPFを利用することで「最終処分量の削減」と「化石燃料の代替」が可能で、更にCO₂排出量は石炭燃料を利用するよりも33%削減される為、環境負荷軽減の効果も期待されています。限りある資源を活かし、廃棄物を最大限に利用する。金本商会は環境と経済の両立を実現させる持続可能な社会を目指します。

木くずの再資源化 (株)湖南リサイクルセンター

木くずの再生施設の認定を受ける為、搬入される木くずの90%を再資源化に繋げることが目標です。実績として昨対比では、搬入量はやや上昇しました。今後も搬入された木くず全てを再資源化に繋げていきたいです。

木くずの再資源化量		
2021年度 2,476.2t <small>(対象期間:2021.3-2022.2)</small>	2022年度 2,396.4t <small>(対象期間:2022.3-2023.2)</small>	2023年度 2,912.9t <small>(対象期間:2023.3-2024.2)</small>
木くずの再資源化率		
2021年度 100% <small>(対象期間:2021.3-2022.2)</small>	2022年度 100% <small>(対象期間:2022.3-2023.2)</small>	2023年度 100% <small>(対象期間:2023.3-2024.2)</small>

社員コメント

(株)湖南
リサイクルセンター
橋谷田 拓人



入社してまだ2年目ですが、選別作業を通して廃棄物ごとの処理の違いや、処分先の違いについて学ぶことができました。資源を循環させることは、今後の環境をより良くすることに繋がるのだと強く実感しています。会社に貢献するため、そして次世代により良い環境を残すために、自分にできることから始めていきたいです。まずは資格支援制度を利用して、重機の資格取得のために努力していきたいです。

資源循環から循環経済へ



目標

- 2030年までにグループで取り扱う廃棄物の再資源化率を60%にする。
- 2050年までにグループで取り扱う廃棄物の最終処分を実質ゼロにする。

サーキュラーエコノミー
実現に向けて



産業と技術革新の
基盤をつくらう



住み続けられる
まちづくりを

環境マネジメントシステム
ISO14001 目的・目標の報告

当グループはISO14001の環境マネジメントシステムに取り組んでいます。社会や自然に与えている影響を明確にし、悪い影響を及ぼす問題や改善につながる取り組みに対して、自ら目標を立てて解決していく仕組みを作っています。

目標設定及び評価は拠点ごとに行っていますので、本頁では拠点ごとに報告しています。なお、キンカンビジネスアソシエイツ(株)はISO14001の事業範囲に含まれておりません。

■ グループ管理本部

目標項目	目標	実績	判定
グリーン購入率	→ 70%以上	→ 96%	→ ○
交通死亡事故件数	→ 0件	→ 0件	→ ○
SDGsへの取組	→ 取組への参加	→ ●琵琶湖森林づくりパートナー活動 ●ヨシで琵琶湖を守るネットワーク ●グリーン購入の推進	→ ○
人事評価評点	→ 評点平均65点以上	→ 評点平均52点	→ ×

■ 営業本部

目標項目	目標	実績	判定
売上高	→ 936,000,000円	→ 934,367,188円 (達成率99.8%)	→ ×
情報発信件数	→ 111件	→ 68件	→ ×
交通死亡事故	→ 0件	→ 0件 (その他物損事故等1件)	→ ○
労働死亡事故	→ 0件	→ 0件	→ ○
SDGsへの取組	→ 取組への参加	→ ●環境学習の実施 ●琵琶湖森林づくりパートナー活動 ●琵琶湖一斉清掃 ●ヨシで琵琶湖を守るネットワーク ●安全な職場づくり ●グリーン購入の推進	→ ○
人事評価評点	→	社員ごとに目標設定・評価を行うためここでは明記しない。	

■ 本社・草津資源循環センター

目標項目	目標	実績	判定
有価物リサイクル排出量	→ 2,155,084kg	→ 2,403,205kg (前年対比111.5%)	→ ○
廃棄物取扱量	→ 106,230kg	→ 98,400kg (前年対比92.59%)	→ ×
交通死亡事故	→ 0件	→ 0件 (その他物損事故等2件)	→ ○
労働死亡事故	→ 0件	→ 0件	→ ○
SDGsへの取組	→ 取組への参加	→ ●環境学習の実施 ●ヨシで琵琶湖を守るネットワーク ●安全な職場づくり ●グリーン購入の推進	→ ○
さんばいくん更新	→ 年2回以上の更新	→ 4回更新	→ ○

■ 石部営業所

目標項目	目標	実績	判定
エコ車両に買い替え	→ 3年間で3台買い替え	→ 全6台	→ ○
交通死亡事故	→ 0件	→ 0件 (その他物損事故等16件)	→ ○
労働死亡事故	→ 0件	→ 0件 (その他労働災害0件)	→ ○
SDGsへの取組	→ 取組への参加	→ ●琵琶湖森林づくりパートナー活動 ●琵琶湖一斉清掃 ●環境学習の実施 ●安全な職場づくり ●グリーン購入の推進	→ ○
人事評価評点	→	社員ごとに目標設定・評価を行うためここでは明記しない。	

■ リユース事業部

目標項目	目標	実績	判定
古物の取扱件数	→ 6件	→ 11件	→ ○
交通死亡事故	→ 0件	→ 0件	→ ○
SDGsへの取組	→ 取組への参加	→ ●グリーン購入の推進	→ ○
人事評価評点	→	社員ごとに目標設定・評価を行うためここでは明記しない。	

■ (株)湖南リサイクルセンター

目標項目	目標	実績	判定
総受入量対比総処分費	→ 1kgあたりの処理単価の維持	→ 設定値以下	→ ○
有価物排出比率	→ 20%以上	→ 21.9%	→ ○
新型破砕機の燃料使用量	→ 燃費0.3ℓ/t以上の維持(年間)	→ 0.33ℓ/t (109.7%)	→ ○
処理先開拓	→ 3年間で2件以上	→ 全7件	→ ○
交通死亡事故	→ 0件	→ 0件 (その他物損事故等1件)	→ ○
労働死亡事故	→ 0件	→ 0件 (その他労働災害3件)	→ ○
SDGsへの取組	→ 取組への参加	→ ●琵琶湖森林づくりパートナー活動 ●琵琶湖一斉清掃 ●環境学習の実施 ●障害者雇用 ●安全な職場づくり ●グリーン購入の推進	→ ○
人事評価評点	→	社員ごとに目標設定・評価を行うためここでは明記しない。	

■ 京都営業所・(有)ラゴ

目標項目	目標	実績	判定
交通死亡事故	→ 0件	→ 0件 (その他物損事故等4件)	→ ○
労働死亡事故	→ 0件	→ 0件 (その他労働災害0件)	→ ○
SDGsへの取組	→ 取組への参加	→ ●環境学習の実施 ●安全な環境づくり	→ ○
人事評価評点	→	社員ごとに目標設定・評価を行うためここでは明記しない。	

■ 社員コメント 近畿環境保全(株) コンプライアンス室 室長 永戸 浩一

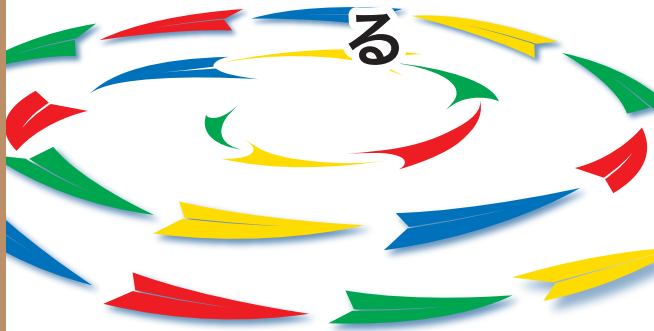
2009年に環境報告書として発行してから15回目となり、GRIスタンダードを基準としたこのサステナビリティレポートは、情報開示の枠組みを捉えていくようになりました。

弊社は更新審査に合わせた3年間で大きな枠組みとして目的・目標を設定しており今年がその最終年度でした。ISO14001も2024年5月、気候変動に関する組織の課題や、利害関係者からのニーズ及び期待への対応を求められるようになり、本書ではGHGに関しての削減目標なども記載し、今年度より新しい三カ年計画をスタートさせています。収集運搬に係る効率、その他事務職に係る効率、廃棄物処理にかかる効率を上げ、環境に負荷を与えないための取り組みを一層推進していかなければならないと考えています。ISOの情報開示については前年度の結果となっています。

サステナビリティレポートを作成したチームに感謝するとともに、本誌を手にとって頂いたステークホルダーの皆様には継続して報告し情報開示を図ってまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。



これから信頼される
キンカングループへ



KINKAN GROUPとして コンプライアンスの理解と定義

- 会社で働く人間が法令違反を起こさないようにすること。
- 会社が法令違反を起こさないための仕組みができていること。

とし、「社会の要請に応えること」を筆頭に、法令を守るのみならず、ステークホルダーを含めた社会全体からの要請に丁寧に応えていきます。



住み続けられるまちづくりを



気候変動に具体的な対策を



清らかさを感じる水に



気候変動や自然災害に強い暮らしに

コンプライアンスへの取り組み

サプライチェーンマネジメント

施設見学

お客様自身の目で処理施設をご確認いただき、廃棄物処理への理解を深めていただけるよう、当グループでは(株) 湖南リサイクルセンターをはじめとした施設で、定期的に施設見学の機会を設けています。当グループの施設に限らず、お客様の希望にあわせて最終処分地、協力業者への視察も手配します。

(株) 湖南リサイクルセンターでは、より多くのステークホルダーに見学していただくために、2023年3月よりオンライン施設見学を開始しました。遠方の方でも気軽に視察していただけるため、今後はコンテンツを充実させ、月に1回のペースで開催する方針です。



■実施回数:11回 参加企業:59社 参加人数:90名(オンライン参加のみ)

処分地の確認

当グループが責任を持ってお預かりした廃棄物が適正に処理・管理されているかどうかを確認するために、定期的に処分地の視察を実施しています。これにより処理の適正さと信頼性の確認が得られた最終処分地・再資源化先のみをお客様にご提案しています。



■訪問施設:13箇所

法令遵守

ステークホルダーの皆様安心して取引をしていただき、事業を継続していくために、当グループが法律と条例を遵守できているかどうか毎年2月ごろに確認しています。2023年度の確認は2024年3月31日に行い、全ての法律と条例を遵守していると確認できました。2024年度も引き続き方針変更や法改正に対応し、法令遵守に務めます。

法律・条例 一覧

- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- 資源有効利用促進法
(各種リサイクル法)
- 騒音規制法
- 振動規制法
- 悪臭防止法
- 水質汚濁防止法
- 電気事業法
- 建設業法
- フロン排出抑制法
- 消防法
- 浄化槽法
- 道路交通法
- 道路運送車両法
- NOx・PM法
- 高圧ガス保安法
- 揮発油等品質確保法
- 計量法
- 労働安全衛生法
- 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律及び滋賀県人権尊重の社会づくり条例
- 同和対策特別処置法
- 個人情報保護法及び滋賀県個人情報保護条例
- 男女雇用機会均等法
- 暴力団等排除条例
- 湖南省環境基本条例
- 滋賀県生活排水対策の推進に関する条例
- 滋賀県ごみの散乱防止に関する条例
- 公害防止協定-青地町自治会

以上、全て遵守!

各拠点の環境調査

当グループの事業で環境への負担を把握するために、事業を行っている3ヶ所で廃棄物の処理および収集運搬の際に発生する騒音・振動・臭気に対して毎年調査を実施しています。専門機関に依頼して騒音規制法・振動規制法・悪臭防止法の基準をもとに調査し、基準値以下となるよう努力しています。

さらに、当グループは特定施設にはあたりませんが、水質汚濁防止法の項目に沿って自主的に水質も測定しています。2023年度の調査は5月10日に行い、基準値を超えずにそれぞれの項目をクリアしています。

なお、以前まで4拠点で実施しておりましたが、京都営業所は測定不要と判断し、昨年度の計測対象から外しています。

■ 近畿環境保全(株)本社及び草津資源循環センター

	騒音レベル	振動レベル	臭気レベル
規制基準	65dB	70dB	12
調査結果 (場所/No.1)	65dB	58dB	10未満
調査結果 (場所/No.2)	64dB	47dB	10未満
評価	○	○	○

水質レベル		
計量対象項目	計量の結果	計量の方法
水素イオン濃度	6.8	JIS K0102 12.1
生物学的酸素要求量	56mg/L	JIS K0102 21及び32.3
化学的酸素要求量	16.0mg/L	JIS K0102 17
浮遊物質(SS)	7.0mg/L	環境庁告示第59号付表
ノルマルヘキサシン抽出物質含有量	0.5mg/L未満	環境庁告示第64号付表
大腸菌群数	2300個/cm ³	厚生省・建設省令第1号
窒素含有量	0.8mg/L	JIS K0102 45.2
燐含有量	0.1mg/L	JIS K0102 46.3
pH測定時試料温度	20.3℃	JIS K0102 7.2

■ 近畿環境保全(株)石部営業所

	騒音レベル	振動レベル	臭気レベル
規制基準	70dB	70dB	14
調査結果 (場所/No.1)	53dB	39dB	10未満
調査結果 (場所/No.2)	51dB	36dB	10未満
評価	○	○	○

■ (株)湖南リサイクルセンター

	騒音レベル	振動レベル	臭気レベル
規制基準	70dB	70dB	敷地境界線14
調査結果 (場所/No.1)	58dB	44dB	10未満
調査結果 (場所/No.2)	59dB	44dB	10未満
調査結果 (場所/No.3)	63dB	45dB	
評価	○	○	○

水質レベル		
計量対象項目	計量の結果	計量の方法
水素イオン濃度	7.3	JIS K0102 12.1
生物学的酸素要求量	1mg/L	JIS K0102 21及び32.3
化学的酸素要求量	0.5mg/L	JIS K0102 17
浮遊物質(SS)	3.0mg/L	環境庁告示第59号付表
ノルマルヘキサシン抽出物質含有量	0.5mg/L未満	環境庁告示第64号付表
大腸菌群数	0個/cm ³	厚生省・建設省令第1号
窒素含有量	0.5mg/L未満	JIS K0102 45.2
燐含有量	0.1mg/L未満	JIS K0102 46.3
pH測定時試料温度	20.4℃	JIS K0102 7.2

KINKAN GROUP 労働安全衛生に対する取り組み

1

KINKAN GROUP 安全衛生方針

基本方針

当社は、安全衛生活動を企業経営の基盤と認識し、地域の廃棄物処理を担うエッセンシャルワーカーとして安全衛生に関する行動指針を以下のとおり定め、全社一丸となって安全衛生活動に取り組みます。

行動指針

- 安全衛生関係法令を遵守するとともに、安全と衛生を守るために必要な社内規程等を整備・更新し、社員・協力が社が安心して働くことができる職場環境の実現に努めます。
- 安全衛生活動の基本は、風通しのよい職場風土にあるとの認識に立ち、社員・協力が社と良好なコミュニケーションの形成を推進します。
- リスクアセスメントの実施により、職場や作業に潜むあらゆる危険要因を明確にし、「労働災害ゼロ」から「危険ゼロ」の安全な職場づくりを推進します。
- 衛生管理体制の充実とメンタルヘルス対策の推進により、社員の心と体の健康保持・増進を推進します。
- 職場で働く社員及び協力が社に対して、本方針と安全衛生活動の重要性を周知し、安全衛生教育及び訓練を継続的に行い安全衛生水準の向上を図ります。
- 「安全衛生計画」を策定し、PDCAサイクルによる継続的な安全衛生水準の改善と向上に努めます。

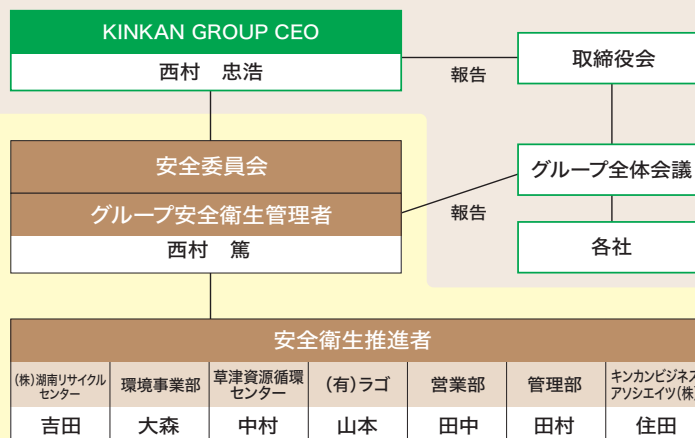
実施項目	実施回数	活動日程(実施月)											
		5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
安全衛生委員会	月1回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工場パトロール	毎週	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヒヤリハット事例報告	月1回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
リスクアセスメント実施	随時												
安全衛生教育	随時												
必要な資格の確認と取得	随時												
作業手順書の作成	随時												
機械設備の点検	点検日程 洗い出しは 年度初め	○											
健康診断	年1回											○	
消火訓練	年4回	○		○		○					○		

備考：火災対策の消火訓練に関しては、各拠点の建物の基準に準ずることとする

2

KINKAN GROUP安全衛生方針の具体的な取り組み

当グループは、グループ全体会議の下部機構として「安全委員会」を設け、労働安全衛生に関する重要方針の決定、計画の策定、活動のレビューを月に1度の会議で行っています。同委員会では、安全教育と訓練、リスクアセスメントと予防策、設備や作業環境の改善等を話し合い、審議等された事項については、グループ全体会議へ報告しています。「安全衛生」の浸透を図るべく、労働安全衛生規程およびKINKAN GROUP安全衛生方針を行動指針として制定し、各会社並びに部署に代表者を置き、グループ各社での周知と活用を促しています。



●安全教育

新規従業員や既存従業員に対する定期的な安全教育の実施。

●リスクアセスメントと予防策

日常的に行っている危険予知活動(KY活動)やリスク評価の方法及びその結果を基にした安全対策。ヒヤリハットの提出や5S活動の実施。

●設備や作業環境の改善

作業現場の機械設備や作業環境の改善、定期的な安全検査の実施。

3

KINKAN GROUP安全衛生方針の実施内容と結果

当グループは、労働災害を未然に防止する仕組みとして、各社・事業所ごとに労働安全衛生規定に基づいた内部監査を実施し、事故、災害、法令違反の未然防止に努めています。

重点目標	施策
重機や設備による労働災害の防止	<ol style="list-style-type: none"> 安全な操作手順、清掃・メンテナンス手順の作成 ヒヤリハット、リスクアセスメントの実施 安全意識強化のために勉強会を開催
収集運搬中の事故の防止	<ol style="list-style-type: none"> ヒヤリハット、リスクアセスメントの実施 勉強会を開催し、事故事例の振り返りや再発防止策を検討

上記に掲げた昨年度目標を達成することが出来ました。

2023年は命にかかわるような重大な事故はありませんでしたが、27件の事故が発生し、そのうち9割は収集運搬中の事故でした。この結果を踏まえて次年度以降の事故件数大幅削減を目標とし、各部署で事故の再発防止策や事前対策を強化することとなりました。

■事故件数:25件 ■労災件数:2件 詳細な数値は68ページへ

事前対策、事故再発防止策の具体例（一部）

- 車両点検を毎日実施し、書類への記入と写真提出を徹底
- 乗車前のアルコールチェックと免許証所持の確認を徹底
- 選別ラインの熱中症対策としてスポットクーラー10台導入
- 施設機械周りにバリカーを設置
- 「止まれ」「横断歩道」等白線の補修工事

4 KINKAN GROUP安全衛生方針とサステナビリティ

サステナビリティレポートと安全衛生方針は、企業の持続可能な成長と社会的責任を示す上で密接に関連しています。安全方針は従業員の健康と安全を確保し、労働環境を改善する取り組みを示し、これが従業員の幸福や生産性向上につながります。サステナビリティレポートでは、こうした労働安全の取り組みが環境保護や法令遵守、社会的信頼の構築にどう貢献しているかを記載し、企業の持続可能性を強調します。

1 従業員の健康と安全の確保

労働者の健康と安全を守ることで、従業員のモチベーションや生産性が向上し、安定した労働環境が持続可能な経営の基盤を支えます。従業員が安心して働ける環境は、企業の長期的な成長に欠かせません。

2 法令遵守と社会的信頼の向上

労働安全衛生への取り組みは法令遵守の一環であり、社会的責任を果たす企業としての信頼性向上に寄与します。サステナブルな企業は、社会との調和や信頼を重視し、企業の長期的な持続に貢献します。

3 サプライチェーンの持続可能性強化

企業が労働安全衛生活動を徹底することは、サプライチェーン全体の安全性を高め、パートナー企業との信頼関係を強化します。これは取引先や顧客に対する企業の持続可能性へのコミットメントを示す要素となり、競争力の向上につながります。

4 従業員のスキル向上と人材育成

労働安全衛生活動を通じて行われる安全教育や研修は、従業員のスキル向上を促し、企業の長期的な成長を支える持続可能な人材育成に繋がります。安全対策を理解し、実践できる従業員が増えることで、企業全体の安全文化が強化されます。

5 事故防止によるコスト削減

労働災害や事故を未然に防ぐことで、医療費や補償費用、操業停止のリスクを抑え、経済的なコスト削減を実現します。これにより、企業の財務的な安定性が確保され、持続可能な経営が促進されます。

6 環境保護と地域社会への貢献

安全な労働環境を確保することは、廃棄物処理や環境保護における事故防止にも繋がります。これにより、環境への負荷を低減し、地域社会への貢献度を高めることができます。

7 国際的なサステナビリティ基準との整合性

国際的なサステナビリティ基準（ISO 45001やSDGsの目標など）に沿った労働安全衛生活動の実施は、企業がグローバル市場で持続的に競争力を維持するための重要な要素です。これにより、海外の取引先との関係強化や国際的な認知度向上も期待できます。

労働安全衛生活動は、企業のサステナビリティ戦略の重要な柱であり、従業員の安全と健康を守ることで、経済的・社会的・環境的な価値を創出します。これにより、企業は長期的な成長を実現し、社会的責任を果たす存在となります。

5 KINKAN GROUP安全衛生方針の目標と改善計画

当社では、従業員の安全と健康を最優先に考え、2024年度までに以下の労働安全衛生目標を達成することを目指します。

1 労働災害件数の削減

労働災害件数を前年比10%減少させることを目標とし、全拠点でリスクアセスメントを実施して、事故発生を未然防止を図ります。

2 安全教育の充実

全従業員に対して随時の安全教育を実施し、新入社員には1ヶ月以内に基本的な安全衛生教育を完了させます。

3 設備の安全性向上

収集運搬車両および中間処理施設の安全装置を随時見直しとし、自動化技術の導入を検討します。

4 健康管理の推進

年1回の健康診断を実施し、従業員の健康状態を把握するとともに、過重労働を防ぐための労働時間管理を徹底します。

5 継続的改善のためのPDCAサイクル導入

月次安全委員会を実施し、目標達成状況をモニタリングします。PDCAサイクルを導入し、継続的に改善を図ります。

6 コミュニケーションと従業員参加の促進

労働安全衛生活動には従業員の意識と参加が不可欠です。定期的な意見交換や安全衛生委員会を開催し、従業員の声を反映させた取り組みを行います。

【GRI 対照表】

キンカングループは、62期(2023年5月～2024年4月)までの期間について、GRIスタンダードを参照して報告する。
 ※グループ内各法人の決算期によって対象期間が前後する箇所あり。

【利用したGRI 1】GRI:基礎2021 【該当するGRIセクター別スタンダード】該当なし

GRIスタンダード	開示事項	掲載場所
一般開示事項		
GRI 2: 一般開示事項 2021	2-1 組織の詳細	P4-5
	2-2 組織のサステナビリティ報告の対象となる事業体	P4-5
	2-3 報告期間、報告頻度、連絡先	P2
	2-4 情報の修正・訂正記述	-
	2-5 外部保証	P13
	2-6 活動、バリューチェーン、その他のビジネス関係	P12
	2-7 従業員	P40-65, P66-67
	2-8 従業員以外の労働者	P66-67
	2-9 ガバナンス構造と構成	P7
	2-10 最高ガバナンス機関における指名と選出	P7
	2-11 最高ガバナンス機関の議長	-
	2-12 インパクトのマネジメントの監督における最高ガバナンス機関の役割	-
	2-13 インパクトのマネジメントに関する責任の移譲	-
	2-14 サステナビリティ報告における最高ガバナンス機関の役割	-
	2-15 利益相反	-
	2-16 重大な懸念事項の伝達	-
	2-17 最高ガバナンス機関の集会的知見	-
	2-18 最高ガバナンス機関のパフォーマンス評価	-
	2-19 報酬方針	-
	2-20 報酬の決定プロセス	-
	2-21 年間報酬総額の比率	-
	2-22 持続可能な発展に向けた戦略に関する声明	P1, P6
	2-23 方針声明	P3-13
	2-24 方針声明の実践	P14-35
	2-25 マイナスのインパクトの是正プロセス	P10-11
	2-26 助言を求める制度および懸念を提起する制度	-
	2-27 法規制遵守	P32-33
	2-28 会員資格を持つ団体	P13
	2-29 ステークホルダー・エンゲージメントへのアプローチ	P13
	2-30 労働協約	P7
マテリアルな項目		
GRI 3: マテリアルな項目 2021	3-1 マテリアルな項目の決定プロセス	P7
	3-2 マテリアルな項目のリスト	P8-9
エネルギー		
GRI 3: マテリアルな項目 2021	3-3 マテリアルな項目のマネジメント	P15
GRI 302: エネルギー2016	302-1 組織内のエネルギー消費量	P15
	302-2 組織外のエネルギー消費量	P15
	302-3 エネルギー原単位	P15
	302-4 エネルギー消費量の削減	P15
	302-5 製品およびサービスのエネルギー必要量の削減	P15
水と廃水		
GRI 3: マテリアルな項目 2021	3-3 マテリアルな項目のマネジメント	P15
GRI 303: 水と排水2018	303-1 共有資源としての水との相互作用	P15
	303-2 排水に関連するインパクトのマネジメント	P15
	303-3 取水	P15
	303-4 排水	P15
	303-5 水消費	P15

GRIスタンダード	開示事項	掲載場所
生物多様性		
GRI 3: マテリアルな項目 2021	3-3 マテリアルな項目のマネジメント	P20-23
GRI 304: 生物多様性 2016	304-1 保護地域および保護地域ではないが生物多様性価値の高い地域、もしくはそれらの隣接地域に所有、賃借、管理している事業サイト	P20-23
	304-2 活動、製品、サービスが生物多様性に与える著しいインパクト	P20-23
	304-3 生息地の保護・復元	P20-23
	304-4 事業の影響を受ける地域に生息するIUCNレッドリストならびに 国内保全種リスト対象の生物種	-
大気への排出		
GRI 3: マテリアルな項目 2021	3-3 マテリアルな項目のマネジメント	P15
GRI 305: 大気への排出2016	305-1 間接的な温室効果ガス(GHG)排出量(スコープ1)	P15
	305-2 間接的な温室効果ガス(GHG)排出量(スコープ2)	P15
	305-3 間接的な温室効果ガス(GHG)排出量(スコープ3)	-
	305-4 温室効果ガス(GHG)排出原単位	P15
	305-5 温室効果ガス(GHG)排出量の削減	P15
	305-6 オゾン層破壊物質(ODS)の排出量	-
	305-7 窒素酸化物(NOx)、硫黄酸化物(SOx)、およびその他の重大な大気排出物	-
廃棄物		
GRI 3: マテリアルな項目 2021	3-3 マテリアルな項目のマネジメント	P28-29
GRI 306: 廃棄物 2020	306-1 廃棄物の発生と廃棄物関連の著しいインパクト	P28-29
	306-2 廃棄物関連の著しいインパクトの管理	P28-29
	306-3 発生した廃棄物	P28-29
	306-4 処分されなかった廃棄物	-
	306-5 処分された廃棄物	P28-29
環境コンプライアンス		
GRI 3: マテリアルな項目 2021	3-3 マテリアルな項目のマネジメント	P30-33
GRI 307: 環境コンプライアンス2016	307-1 環境法規制の違反	P32-33
雇用		
GRI 3: マテリアルな項目 2021	3-3 マテリアルな項目のマネジメント	P66-67
GRI 401: 雇用2016	401-1 従業員の新規雇用と離職	P66-67
	401-2 正社員には支給され、非正規社員には支給されない手当	-
	401-3 育児休暇	P19,P66-67
労働安全衛生		
GRI 3: マテリアルな項目 2021	3-3 マテリアルな項目のマネジメント	P32,P34-35,P68
GRI 403: 労働安全衛生2018	403-1 労働安全衛生マネジメントシステム	P34-35
	403-2 危険性(ハザード)の特定、リスク評価、事故調査	P34-35
	403-3 労働衛生サービス	P34-35
	403-4 労働安全衛生における労働者の参加、協議、コミュニケーション	P34-35
	403-5 労働安全衛生に関する労働者研修	P34-35
	403-6 労働者の健康増進	P34-35
	403-7 ビジネス上の関係で直接結びついた労働安全衛生の影響の防止と緩和	P34-35
	403-8 労働安全衛生マネジメントシステムの対象となる労働者	P34-35
	403-9 労働関連の傷害	P34-35,P68
	403-10 労働関連の疾病・体調不良	P34-35
研修と教育		
GRI 3: マテリアルな項目 2021	3-3 マテリアルな項目のマネジメント	P16-17,P66-67
GRI 404: 研修と教育2016	404-1 従業員一人あたりの年間平均研修時間	P66-67
	404-2 従業員スキル向上プログラムおよび移行支援プログラム	P16-17
	404-3 業績とキャリア開発に関して定期的なレビューを受けている従業員の割合	-
GRI 405: ダイバーシティと機会均等2016	405-1 ガバナンス機関および従業員のダイバーシティ	P18-19,P66-67
	405-2 基本給と報酬総額の男女比	-
GRI 406: 非差別2016	406-1 差別事例と実施した救済措置	P18-19
GRI 412: 人権アセスメント2016	412-1 人権レビューやインパクト評価の対象とした事業所	P16-17
	412-2 人権方針や手順に関する従業員研修	-
	412-3 人権条項を含むもしくは人権スクリーニングを受けた重要な投資協定および契約	-
地域コミュニティ		
GRI 3: マテリアルな項目 2021	3-3 マテリアルな項目のマネジメント	P7-13,P24-27
GRI 413: 地域コミュニティ2016	413-1 地域コミュニティとのエンゲージメント、インパクト評価、開発プログラムを実施した事業所	P7-13,P24-27
	413-2 地域コミュニティに著しいマイナスのインパクト(顕在的、潜在的)を及ぼす事業所	-
社会経済面のコンプライアンス		
GRI 3: マテリアルな項目 2021	3-3 マテリアルな項目のマネジメント	P68
GRI 419: 社会経済面のコンプライアンス2016	419-1 社会経済分野の法規制違反	-

キンカングループのESG(環境・社会・ガバナンス)経営やSDGs・MLGsへの関わり方について

立命館大学理工学部 教授

山末英嗣氏



はじめに

現代社会は多くの社会問題に直面しています。その1つが廃棄物処理問題です。キンカングループのサステナビリティレポートでは、グループとしてこの問題をどのように解決してきたか、どのように解決しようとするかについての取り組みがまとめられています。そこでは地域の資源・環境問題の解決について、環境(E)、社会(S)、ガバナンス(G)の各側面における活動が丁寧に紹介されています。昨今、多くの企業や自治体が地球温暖化問題、すなわち脱炭素問題に注力していますが、その多くが「脱炭素戦略の背後にある資源問題」、すなわち資源パラドックス問題に気づけていません。それに対し本レポートでは脱炭素と脱資源の両立に向けたバランスの良い取り組みとなっており、それをESGの視点からどのように取り組んできたのが丁寧にまとめられたものとなっています。

特に評価できる点

●**グリーン経済宣言**: 企業理念として掲げられた「グリーン経済宣言」は、廃棄物処理業という事業特性を最大限に活かしつつ、持続可能な社会への貢献を目指す姿勢が明確に示されています。特に「全てのモノは必要とされている。全てのヒトが必要とされている」というフレーズは、資源循環を通じた社会課題解決とインクルーシブな社会の実現への決意を感じます。

●**マテリアリティ特定**: 事業活動におけるバリューチェーン分析に加え、外部環境やステークホルダーの期待を踏まえたマテリアリティ特定のプロセスは、重要課題の抽出において客観性と網羅性を確保する上で有効です。特定された6つのマテリアリティは、事業特性と社会課題との関連性が明確に示されており、今後の戦略的な取り組みを推進する上での道標となることが期待されます。

●**定量的な目標設定**: 各マテリアリティにおいて、2030年および2050年という長期的な目標を設定している点は、貴社の持続可能な社会への貢献に対する長期的なコミットメントを示すものとして高く評価できます。環境負荷の低減や社会への貢献度を具体的な数値で示すことは、ステークホルダーからの信頼獲得にもつながると期待されます。

●**多様なステークホルダーとの連携**: 地域社会との連携、環境教育の実施、スポーツチームへの協賛など、多様なステークホルダーとの連携を通じて社会課題解決に貢献する姿勢は、企業市民としての責任を果

たすだけでなく、貴社の事業活動の持続可能性を高める上でも重要です。特に、琵琶湖システムの推進や生物多様性保全活動への積極的な関与は、地域社会への貢献と環境保全を両立させるグループの姿勢が明確に示されており、ステークホルダーの理解に繋がります。

●**従業員への配慮**: 資格取得支援制度や人事評価システムの導入など、従業員の能力開発や働きがい向上に向けた取り組みは、従業員エンゲージメントを高め、ひいては企業価値向上にもつながると期待できます。また、障害者雇用や外国人雇用など、ダイバーシティ&インクルージョン推進に向けた取り組みも高く評価できます。

今後の期待

●**定量的なデータの充実と分析**: 一部の活動においては、活動内容の紹介にとどまり、定量的なデータが不足している箇所が見受けられます。活動の成果やインパクトをより明確に示すため、定量的なデータの収集と分析を進め、目標達成に向けた進捗状況を具体的に示すことができれば、環境負荷低減への貢献度を客観的に評価し、さらなる改善につなげると期待されます。

●**目標達成に向けた具体的な計画と進捗管理**: 長期目標達成に向けた具体的な計画やロードマップが必ずしも明確ではありません。目標達成に向けた具体的なアクションプランやKPIを設定し、進捗状況を定期的にモニタリングし、必要に応じて計画を修正していくことが重要です。

●**サプライチェーン全体での環境負荷低減**: ややチャレンジングではありますがサプライチェーン全体での環境負荷低減に向けた取り組みが記載されれば理想的です。調達方針の見直しやサプライヤーとの連携強化などを通じ、サプライチェーン全体での環境負荷を低減する取り組みを強化し、その進捗状況を開示していくことができれば社会における貢献もより明確化されます。

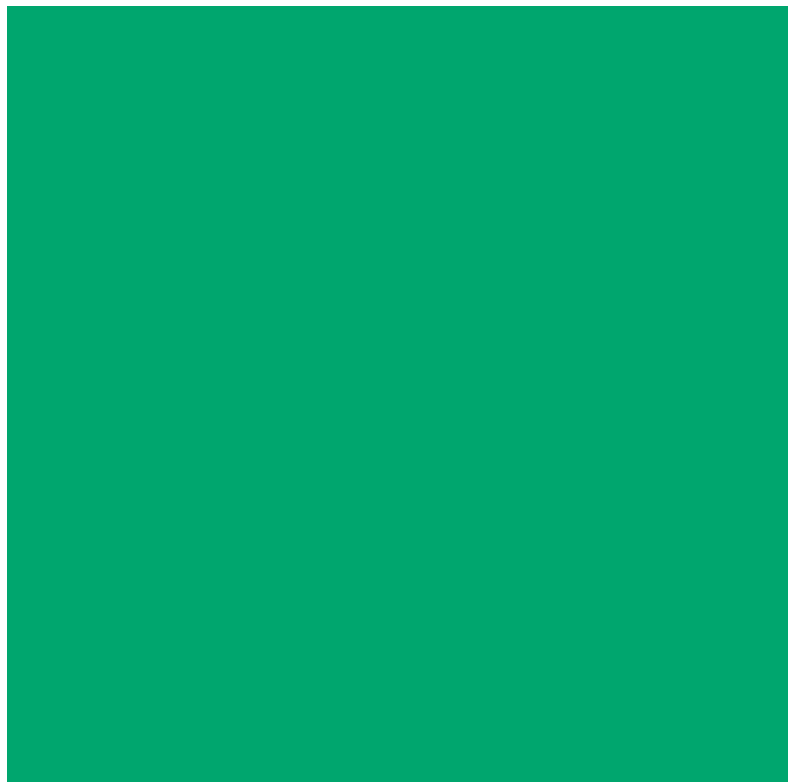
最後に

貴グループのサステナビリティレポートは、専門家の視点から見ても、社会課題解決に向けたグループの真摯な姿勢と具体的な取り組み(SDGs、MLGsとの対応)が分かりやすく記載されたものとなっています。貴グループが今回のレポートで示された課題を踏まえ、さらなる改善と進化を遂げ、持続可能な発展に向けてリーダーシップを発揮することで、地域の循環型社会の構築に大きく貢献することが期待されます。



KINKAN GROUP

SERVICE INFORMATION





ステークホルダーの悩み、課題をKINKANがワンストップで解決します

営業部では、廃棄物処理だけでなく、様々な環境ソリューション業務にも積極的に取り組んでいます。ステークホルダーの悩み、課題は様々ですが、当社では「ファーストコールカンパニー」として常に頼られる営業を目指します。顧客の要望を最適なプランで提案し、持続可能な社会にも貢献していきます。



社員コメント 近畿環境保全(株) 営業部 部長 牧 大地

廃棄物処理事業は2本柱で成り立つと考えています。一つは、いかなる状況下においても継続しなければならない社会インフラであり、エッセンシャルワーカーとして地域の社会基盤を支える仕事です。もう一つは、新法への対応や、脱炭素等の環境トレンド等に対してのお困り事・課題の解決策を提案していく頼られる仕事です。

近畿環境保全(株)は、60年間培ってきた経験とノウハウを活かした廃棄物処理サービスを通して地域の事業活動を支え続けてきました。また、当社は全国各地に様々な環境ソリューションを提供できるパートナー企業様と提携しています。そのネットワークを活かしてあらゆる廃棄物に対する課題の解決策を提案しています。この2本柱を通して、地域環境負荷の低減と環境課題に新しい提案で応えられる企業を目指していきます。





再利用可能な廃棄物の買取業務を行っています

私たちリユース事業部では、お客様がご不要となった物に対して「全てのモノは必要とされている」という理念のもと、再利用可能な廃棄物の買取業務を行っています。

捨ててしまう前にもう一度その価値を見出し、次に必要とされている方々へと繋いでいきます。

リユースの取り組みは地球環境を守るための重要なステップであり、廃棄コストの削減・環境負荷の低減とお客様への利益向上にも繋がります。

私たちは持続可能な社会のための一助となる瞬間をサポートします。

買取の流れ

① 訪 問

ご連絡いただければ訪問させていただきます。

② 査 定

その場で商品の鑑定・査定をさせていただきます。

③ 説 明

鑑定・査定結果をご説明いたします。説明をお聞きいただいた上で、買取金額にご納得いただければ取引成立となります。

④ 成 立

取引成立後、現金もしくは銀行振込でお支払い致します。買取金額にご納得できない場合は、お売りいただかなくても大丈夫です。



社員コメント 近畿環境保全(株) リユース事業部 高橋 一希

欲しい物が簡単に手に入る便利な時代ですが、それが不要になった時点で自分の価値観の中では処分になるケースが多くあります。でもリユースとして次の人がそれを使っていたら、廃棄を減らすだけでなく資源の循環ができます。

自分では不要品でも世界中の誰かがそれを必要としているかもしれないという発想は素敵だと思います。モノがあふれている時代だからこそ大事に使って限られた資源を大事にしたいと思います。





安全運転で廃棄物を処理先まで運搬します

お客様から委託された廃棄物は契約に基づき、品目や性状によって適正な処理先へと運搬します。

当社は委託された廃棄物を確実に運搬するために、安全運転を徹底しています。また、廃棄物の種類に合わせた最適な車両を手配することで過積載や運転中の廃棄物飛散を防止し、適正な運搬に努めています。なお、当社が処理できない廃棄物も協力会社とのパートナーシップにより、適正な処理を提案します。

事前チェックの実施

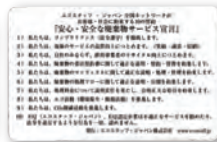
当社では、万が一の事故を防ぐために出発前の事前チェックにより、ドライバーの身だしなみや健康状態の確認、車両の点検を行います。

電子マニフェストの対応

GPSによる運行記録と廃棄物の画像データで、産業廃棄物の処理プロセスを管理するETマニフェストやイーリパースも対応しています。

ESJ優良ドライバー認定の取得

ESJ優良ドライバーは「プロ意識・法令・安全・マナー・顧客満足」について学び、安心・安全なサービスを提供するための検定です。



アルコールチェック・免許証の確認

出勤時と退勤時にアルコールチェッカーを使用して酒気帯びの確認をし、運転免許証と一緒に写真を撮り記録しています。



高度運行情報システムの利用

運行情報管理システム「みまもりくん」を導入しました。みまもりくん(デジタルタコグラフ)により、最高速度・急加速・急減速などの運行情報を管理しています。今後、みまもりくんのデータを元にドライバーとミーティングを行い、安全運転意識の向上を図っていきます。

また、アイドリングの時間も見えることで、空気汚染、エネルギー対策は勿論、騒音対策にも配慮し、環境に優しい収集運搬を行います。

みまもりシステム運転診断書	
アイドリング	2
一般時の燃費	3
シフトアップの燃費	4
最高時の燃費	5
最高時の燃費	1
アクセルペダル踏み込み	5
ブレーキペダル踏み込み	3
エンジンブレーキの活用	1
燃費の悪い走行	-
総合評価	☆☆☆☆

産業廃棄物収集運搬業の車両による事故の統計を調査した結果、事故の多くが早朝と夕方の時間帯に集中していることが判明しました。このデータに基づき、関係者を対象にした勉強会を開催しました。

運転手や管理者が集まり、事故防止策についての講義が行われました。参加者はデータの分析結果を元に、具体的な運転注意点や時間帯に応じたリスク管理の重要性について議論を深め、事故削減に向けた意識を高めました。





マテリアルリサイクルに特化した 草津資源循環センター

草津資源循環センターは、段ボールや古紙、缶やペットボトル等の圧縮機や、発泡スチロールの溶融機を備えています。それぞれに適したリサイクルをしています。



選別
圧縮機

磁石でアルミ缶とスチール缶を選別し、圧縮

製鋼原料として再生



圧縮処理された空き缶



大型
圧縮機

ペットボトルおよび段ボール、古紙を各種類ごとに圧縮

プラスチック原料、製紙原料として再生



圧縮処理された段ボール



溶融機

発泡スチロールを細かくし、溶融してインゴットを作成

プラスチック原料として再生



溶融処理された発泡スチロール

処理した資源物はすべて有価物として売却しています

ボトルtoボトルプロジェクト

ペットボトルの水平リサイクルに取り組んでいます

草津資源循環センターで処理したペットボトルを、「ボトルtoボトル」水平リサイクルに取り組んでいるリサイクル施設へ搬出しています。ペットボトルリサイクルを推進することで、持続可能な社会の実現を目指します。





京都市の不用品回収は(有)ラゴにお任せください

(有)ラゴは京都市の一般廃棄物・粗大ゴミの収集運搬を担う法人です。京都市の一般廃棄物収集運搬業許可を取得しています。環境配慮の取り組みや事業の透明性、遵法性に注視し、京都市で活躍しております。

近畿環境保全(株)リユース事業部との連携にも力を入れ、回収から買取まで一括サポートにも対応していきます。今後も京都市の資源循環に貢献します。

事業系一般廃棄物 収集サービス

京都市の事業系一般廃棄物はラゴにお任せください。お客様の営業日や廃棄量に適した収集プランをご提案いたします。

粗大ゴミ 回収サービス

引越しや家財整理で出る粗大ゴミもラゴへお任せください。家電1台から大量の荷物まで、幅広く対応可能です。

買取にも対応

資源循環社会への貢献として近畿環境保全(株)リユース事業部と連携しています。回収を依頼された粗大ゴミの中で「世の中に需要がある」と判断されたものはリユース品として買取・活用しています。

事業系一般廃棄物収集運搬の優良認定取得には、10項目の厳格な基準を満たす必要があります。これにより、法令遵守、適正処理、安全管理、環境保全などの高い水準が保証されます。優良認定業者を利用することで、信頼性が高く、法的トラブルの回避や環境負荷の低減が期待できます。お客様に安心してサービスをご利用いただける点が大きなメリットであり、継続して取得していきたいと考えています。優良認定の項目は以下の通りです。

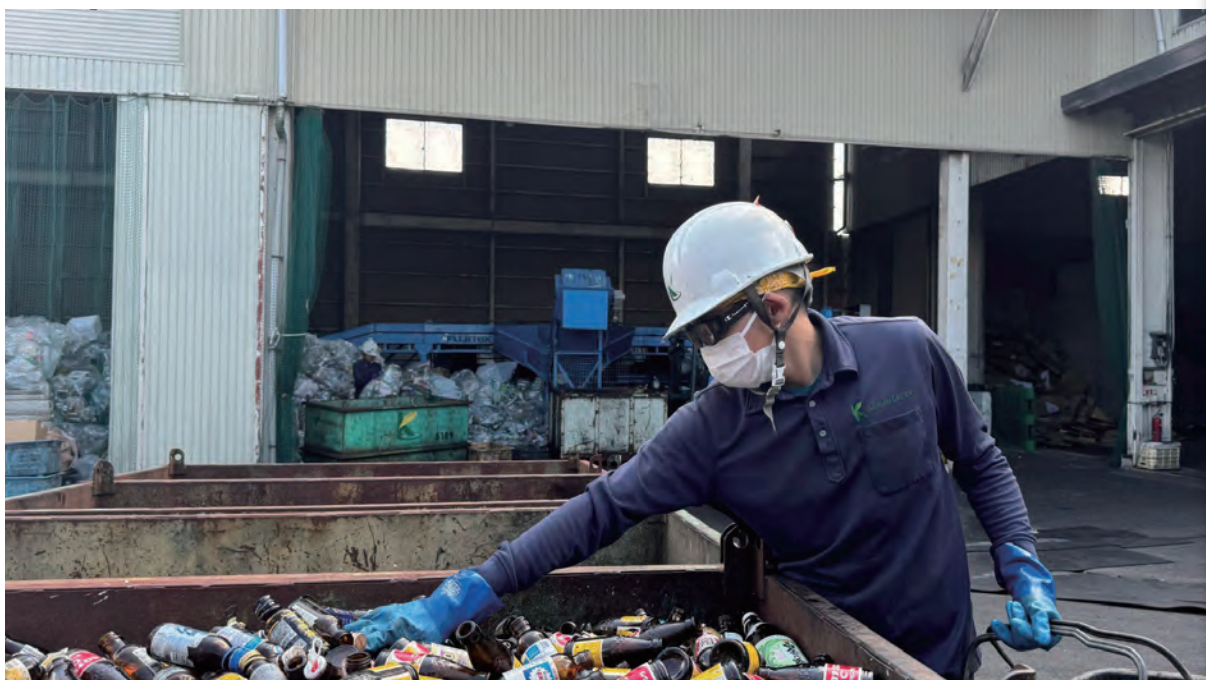
(有)ラゴは以下の10項目をクリアし、優良認定を取得しています。

- (1) 廃棄物処理法等の関係法令に基づき適正な処理をしている事業者であること。
- (2) 本事務取扱要領の各市町村税に滞納がないこと。
- (3) 本市クリーンセンター搬入手数料の未納や納付遅延がないこと。
- (4) その他、優良事業者としてふさわしい事業者であること。
 - ア、本市主催の研修会や説明会等に無断欠席していないこと。
 - イ、本市が求めた報告書や提出物の遅延や未提出がないこと。
 - ウ、事業所や駐車場等が適正に維持、管理されていること。
- (5) 一般廃棄物収集運搬業を推進するに当たり、地球環境への配慮や社会的使命及び責任を果たしている事業者であること。
 - (ア～コ)の10項目のうち5項目以上適合していること。
 - ア、分別収集体制を確立し、的確に実施していること。
 - イ、環境配慮の取組がISO14001等の認証制度により認められていること。

- ウ、社内自主研修を開催し、従業員教育を徹底していること。
 - エ、インターネット上で業務に関する情報を公開していること。
 - オ、危機管理マニュアルの整備や防災訓練等の実施など、緊急時の体制整備をしていること。
 - カ、「優良エコドライブ推進事業所」に認定されていること。または、「エコドライブ推進事業所」登録を行い、全許可車両において「エコドライブ10のすすめ」を実践していること。
 - キ、全許可車両にバックカメラ、ドライブレコーダー及びデジタルタコグラフを装着していること。
 - ク、許可車両に、電動車(電気自動車、燃料電池自動車、プラグインハイブリッド自動車、ハイブリッド自動車)を導入していること。
 - ケ、事業所において、太陽光発電設備など再生可能エネルギー設備の導入又は再生可能エネルギー電力の調達を実施していること。
 - コ、地域社会への貢献活動(地域の清掃活動への参加、環境教育の実施等)を行っていること。
- (有)ラゴとしてはイ、エ、オ、カ、キの5項目で申請しています。

(有)ラゴは
優良許可業者です。





当グループのダイバーシティ&インクルージョンを実践する会社

キンカンビジネスアソシエイツ(株)は、当グループにおけるダイバーシティ&インクルージョンを実践するために、2018年11月に近畿環境保全(株)の子会社として立ち上げました。グループの目標である「循環創造企業」を念頭にヒトとモノを循環させることで持続可能な未来があると考えています。

また、「すべてのモノは必要とされている。すべてのヒトが必要とされている。」という「KINKAN GROUP グリーン経済宣言」を受けて、ダイバーシティ&インクルージョンを実践していきます。多様な属性*を有する方々がどのような働き方でも「経済的自立」と「合理的配慮」を兼ね備えた新しい「働き方」の実現を追求し実践することで、誰もが活躍できる職場環境を提供していきます。

*多様な属性とは…障害者(国の定義による)、出所者(出院者含む)、高齢者、一人親(シングルマザー、ファザー)、外国籍、セクシュアルマイノリティ等のすべての属性を指します。



障害者雇用人数とその内訳 (過去3年の継続率)

- 障害者雇用人数 → 計6名 (2024年8月時点)
- 内訳 → 身体:1名 知的:2名 精神:3名 (うち発達障害2名)
- 過去3年間に雇用した障害者の就職1年後定着率:100%

エコパートナー事業部

障害者雇用を積極的に行い、当グループで活躍できる人財を育成しています。現在、障害者雇用枠で働く社員が6名所属していて、当グループの施設「草津資源循環センター」や「(株)湖南リサイクルセンター」にて業務にあたっています。また定年退職を迎えた方の再雇用も行っており、今後は障害者雇用だけでなく、当グループのダイバーシティ&インクルージョンを実践していきます。

(企業在籍型職場適応援助者、障害者職業生活相談員、滋賀県発達障害者支援ケアマネージャー、相談支援専門員が在籍)



FCサポート事業部

関連会社の飲食事業などと連携し、事業のサポートをしながら幅広い世代や女性雇用に貢献しています。今後は飲食系フランチイズの多店舗展開や別事業のサポートに向けて更なる雇用の拡大を視野に入れ、性別や国籍、ハンディキャップの有無に関係なく働ける場を提供していきたいと考えています。

相談支援事業所ぽアソ

当社では相談支援事業所「ぽアソ」を運営しています。「ぽアソ」という名前には、「Possibility(可能性)は無限」の「Associates(仲間たち)」という意味が込められています。

相談支援事業所「ぽアソ」では社会で生きづらさを抱えている方の多様なニーズや課題を解決していきながら、社会的自立を目指せるよう支援してまいります。

- 契約件数(2022年6月~2024年8月): 27件(終了2件)
- 主な障害種別: 精神、発達、知的、身体
- 主に利用する福祉サービス: 就労支援、居宅支援、共同生活援助
- 利用者の年齢: 18歳~81歳



施設外就労(訓練)の受入れ

現在、グループ会社の(株)湖南リサイクルセンター内で(学)関西福祉学園働き教育センター様に施設外就労(訓練)の場を提供しています。利用者様が就職するためのひとつのプログラムの中で、支援企業としてグループ全体で支えています。



利用者コメント 「(学)関西福祉学園 働き教育センター湖南」 利用者 Oさん

(株)湖南リサイクルセンターで週1回職業訓練に来させてもらってから約2年ほど経ちました。最初は選別の方法が難しく、支援員さんに相談しながら言われたとおりに選別をしていましたが、今ではほとんどのものを自分で判断しながら選別することができています。元々廃材に近いようなものを手で選別することによってリサイクルに貢献できていると思うとそれがモチベーションに繋がっています。

現在は就職に向けて準備を進めていますが、今まであまり考えたことがなかった選別をする仕事も自分に向いているのではないかと考えており、そういった企業も視野に就職活動を進めていこうと考えています。働き教育センター湖南に通所する間は(株)湖南リサイクルセンターでの作業に意欲的に挑戦していきたいです。



障害者雇用優良中小事業主(もにす)認定を取得

滋賀県7例目、湖南4市で初(草津市、栗東市、守山市、野洲市)



2023年5月25日に障害者雇用優良中小事業主(もにす)に滋賀労働局より認定されました。今後も障害者雇用枠で働く方が活躍できるような環境を提供し続けると同時に、当グループ内でも当たり前前に活躍していけるような環境を構築していきます。



職親プロジェクト関西滋賀支部(仮)の立ち上げ準備中です。

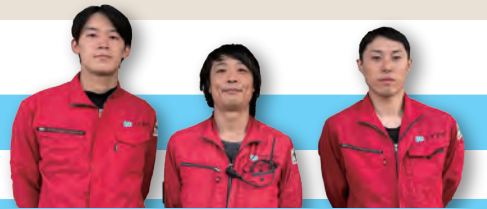
当社は、2023年に職親プロジェクトの支援企業として協力雇用主会に登録させていただきました。職親プロジェクトとは、出所者や出院者の就職・職業生活等のその後をサポートすることであり、「KINKAN GROUPグリーン経済宣言」である「すべての人が必要とされている」という点、ダイバーシティ&インクルージョンを実践していくことにおいて、多様な属性の方々のお力添えが持続可能な発展に必要不可欠だと考えています。

また、滋賀県内の企業様・事業所様と共に出所者や出院者の方のトータルサポートができるよう、職親プロジェクト関西滋賀支部(仮)として立ち上げの準備を行っています。多種多様な業界や業種の企業様や事業所様のお力添えをいただくことによって、運営・管理を行っていくことができます。



地域に必要とされる中間処理施設であり続ける為に

（株）湖南リサイクルセンターは2022年、大型破碎機と機械式選別機を導入しました。稼働から一年以上が経ち、処理能力が大きく向上し、埋め立てに頼らない再資源化に向けた処理フローを実現しました。昨年10月で埋め立てを終了した県内の最終処分場の受け皿として多くの廃棄物の受け入れが可能です。



活躍する若手社員

（株）湖南リサイクルセンターでは将来の幹部や、新施設・新プロジェクトを立ち上げる際のリーダーになって欲しいという思いから、十年前から工場勤務の大卒採用を始めました。今では多くの大卒社員が活躍しています。こういった廃棄物処理施設において大卒社員が活躍しているのは全国的にみても非常に珍しいのですが、なぜ当工場では大卒社員がこんなにも活躍しているのでしょうか？3人の大卒社員に実際に話を聞いてみました！ズバリなぜこの工場でそんなに頑張っているのでしょうか？



僕は学生時代、ラグビーをやっていましたので体力的にはそこまで辛かった事はありません。それよりも日々内容の変わる廃棄物を処理する難しさと上手く処理できた時の達成感、そしてもっとこうしたい、こうなりたいという思いから、資格を取得させてもらえたり、社外研修にて設備の扱いやメンテナンスを学び、自身がスキルアップしている感じがとてもやりがいに感じます。

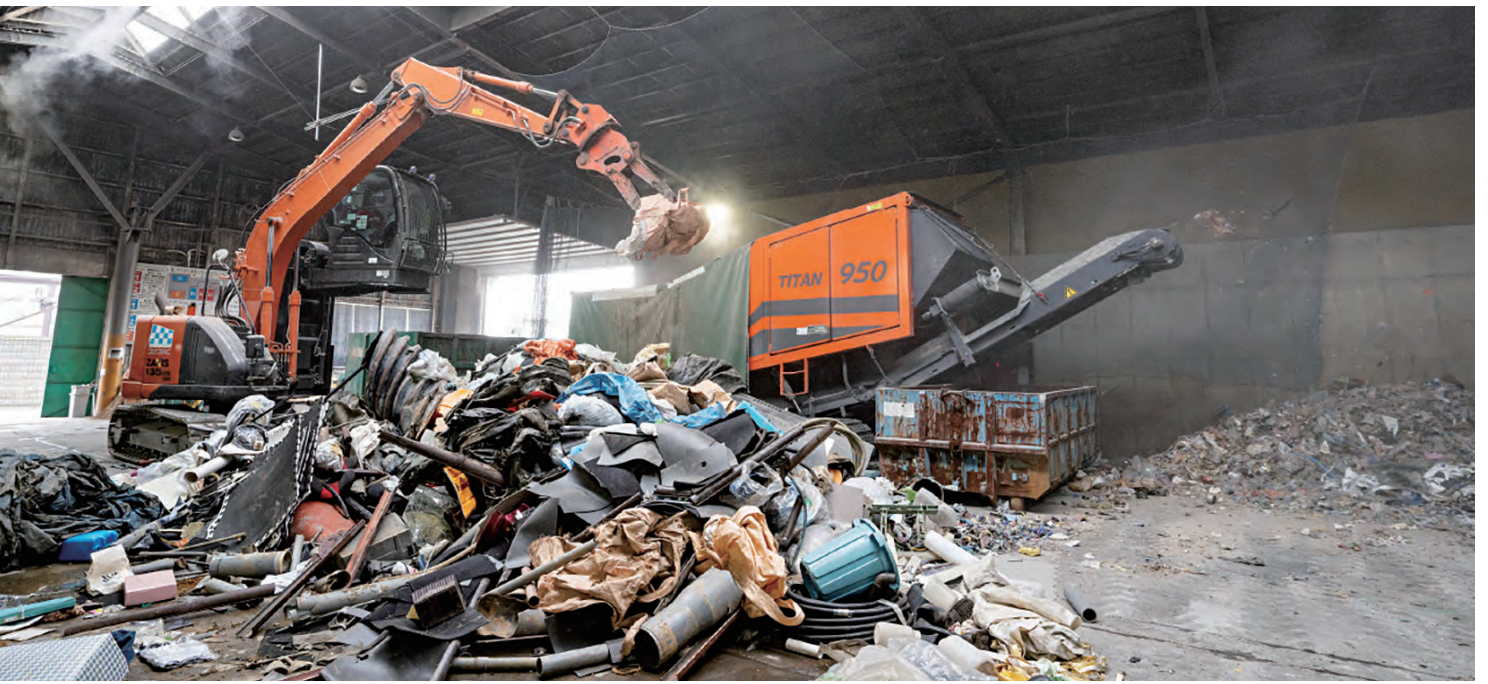


僕も野球をやっていたので体力には自信があります！でも僕はそれよりも環境に対する思いが強く、廃棄物を適正処理する事が環境の為になると実感出来るところにやりがいを感じています。そしてバリオセパレーター導入の際に打ち合わせ、準備、立ち上げに尽力された上司の姿を見て憧れを感じ、自分もあのようになりたいと感じました。また森林づくりパートナーや琵琶湖清掃など直接、自然や環境に触れ合う事にも積極的に参加しています。



僕も学生時代はサッカーをやっていて体力的にも自信はありますし、環境保全に対しても興味があります。今は外国人従業員とコミュニケーションをとり、上司との間になって指示を聞いて指示を伝え、共に廃棄物を処理する事にやりがいを感じています。しんどくなった時、困った時など、すぐ側に同じ大卒社員の先輩、上司がいてくれてアドバイスをくれたり助けてくれる事はとてもありがたいです。とても良いチームワーク、雰囲気の中で働いていると思います。

この様な回答でした。みんな体力には自信があるようですが、なによりも環境に対する強い思いと、みんなで助け合える確かなチームワーク、スキルアップ制度で自分の思い描く将来像に向けてどんどん力をつけて活躍しています！この3人の他にも2人、計5人の大卒社員が工場で活躍しています。



琵琶湖森林づくりパートナー協定の締結

2023年6月2日に、三雲生産森林組合と調印式を実施し、琵琶湖森林づくりパートナー協定を締結しました。

同じ湖南省で活動する組織としてお互いに発展していければと考えています。



適正処理への備え

中間処理後の廃棄物の二次処理先として、東西広域かつ複数の業者と取引しており、最終処分先についても新規開拓を続けております。このことは、気候関連災害や自然災害に対する備えとなり、当施設を持続的に運営するために事業継続力強化計画認定を取得し、BCP協定も締結しています。

事業継続力強化計画認定



防災・減災に向けて取り組む企業に対し、その計画を認定する制度です。日頃から安心・安全な廃棄物処理サービスを提供することはもちろん、万が一自然災害が発生した場合でも早期の復旧とサービス提供の実現に向けて尽力します。

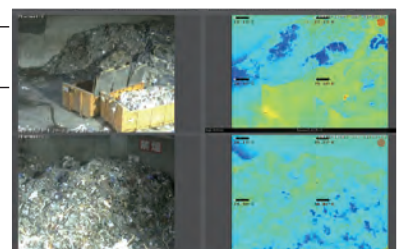
BCP協定



「自然災害や不可抗力」により事業活動が継続困難な状況に陥った際に全国の認定企業が相互に支援し合う協定です。全国の優良な廃棄物処理業者を繋ぐエコスタッフ・ジャパンの認定企業60社によるBCP協定を環境省立会いのもと締結しています。

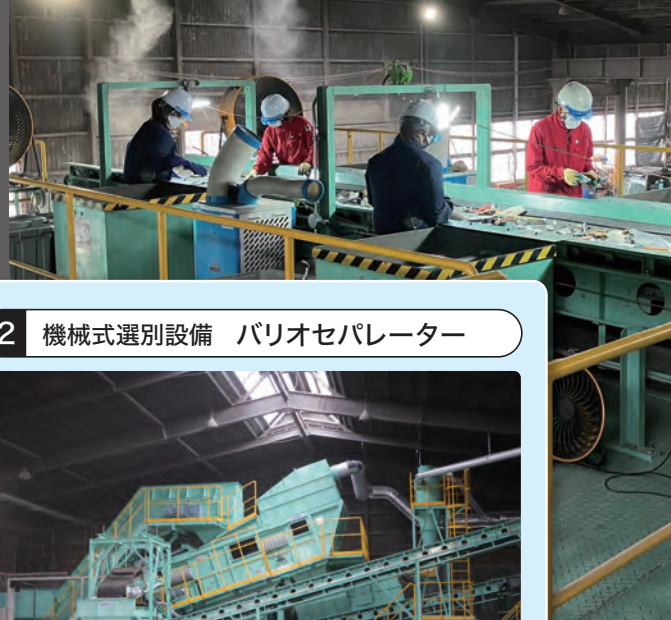
安心安全な施設

施設を持続的に運営するためには安全面も不可欠です。監視カメラやサーモグラフィカメラの導入によって火災や異常を早期発見し、3ヶ月に1度実施している消火避難訓練によって素早い対応を可能にしています。安心安全な施設を維持し、事故0 火災0を目指します。



A棟 混合廃棄物の破碎処理施設

混合廃棄物の破碎処理及び選別を行っています。
破碎前に人の手で選別を行うことで、
危険物（不適物）の混入を防ぎます。



1 移動式破碎機 タイタン

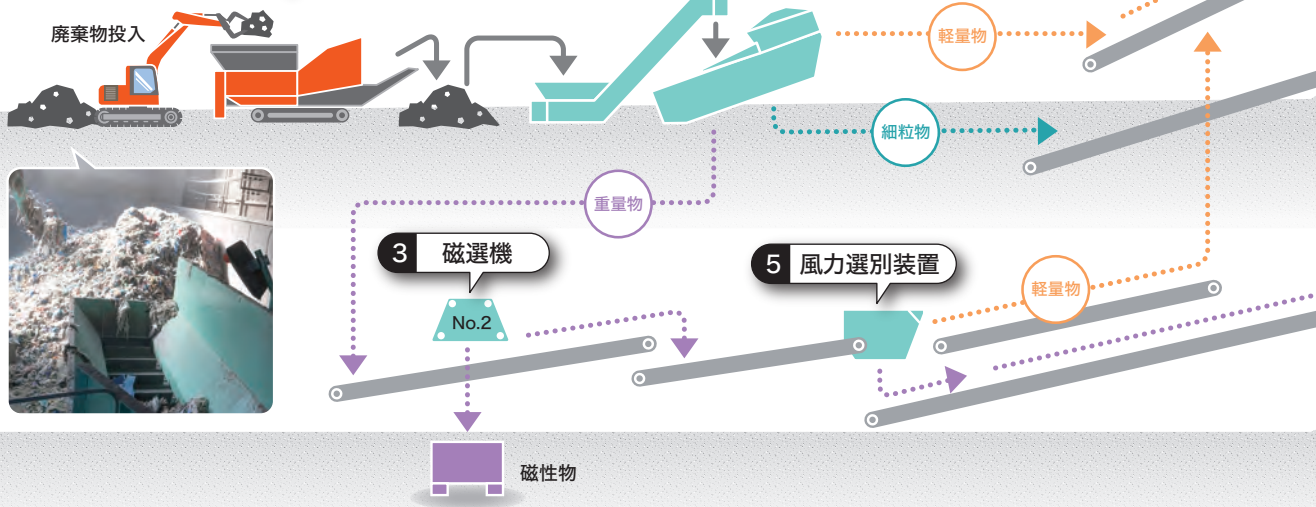


大型破碎機の導入により、これまで処理困難物であった
大きなシート状やロール状の廃棄物も破碎処理が可能となり
ました。破碎スピードも向上し、処理能力は以前の2.8倍
を誇ります。

2 機械式選別設備 バリオセパレーター



混合廃棄物を比重差によって、重量物・軽量物・細粒物
に分別します。その後、レーン上で磁選機や人の手を用いて
より精度の高い選別を行います。



C棟 木くず専用の破碎設備

種類ごとに搬入された木くずを破碎して、チップ化します。木材チ
ップは製紙原料や建材原料などに利用されています。原料として利用
できないものは、バイオマスボイラーの燃料として活用しています。



破碎処理



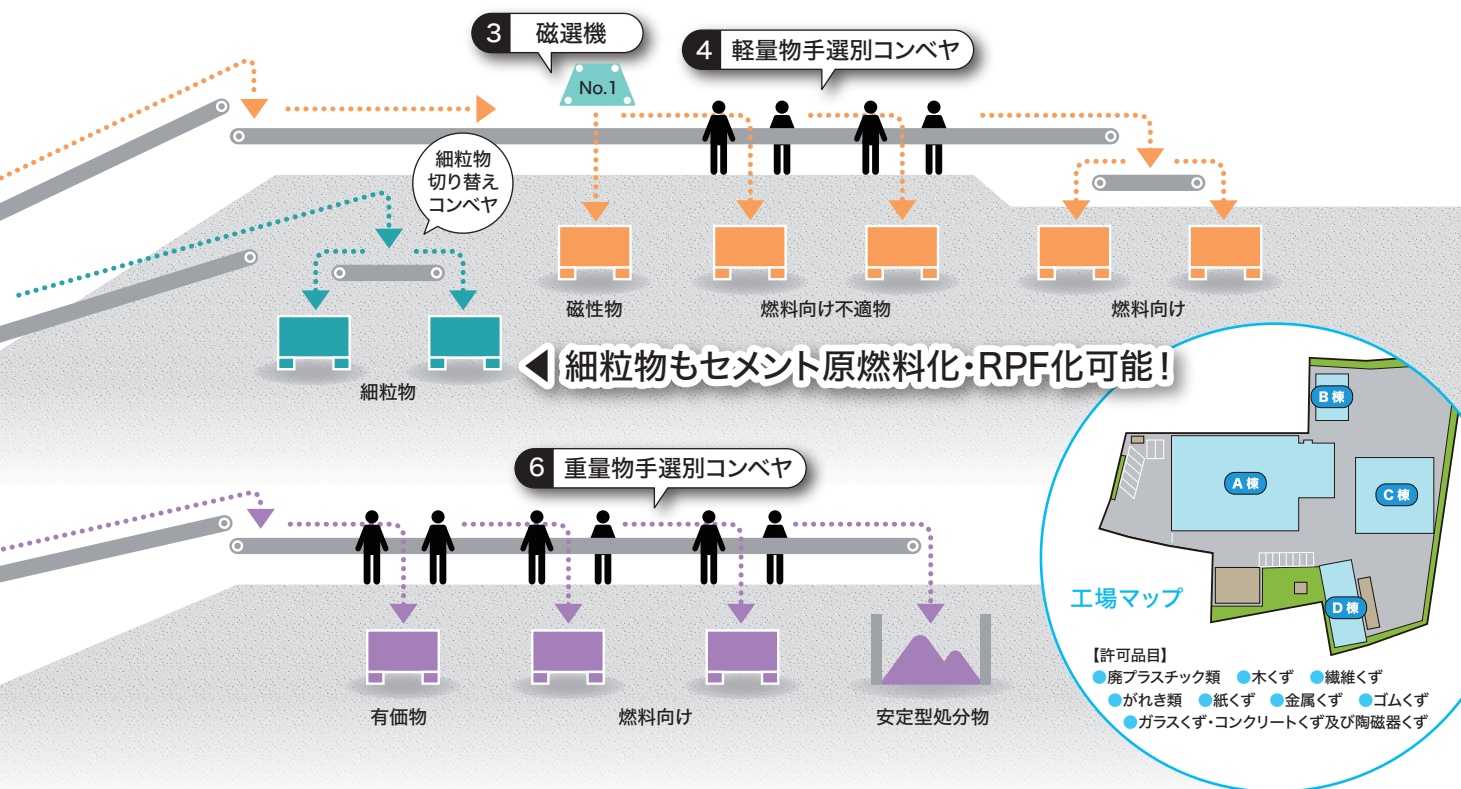
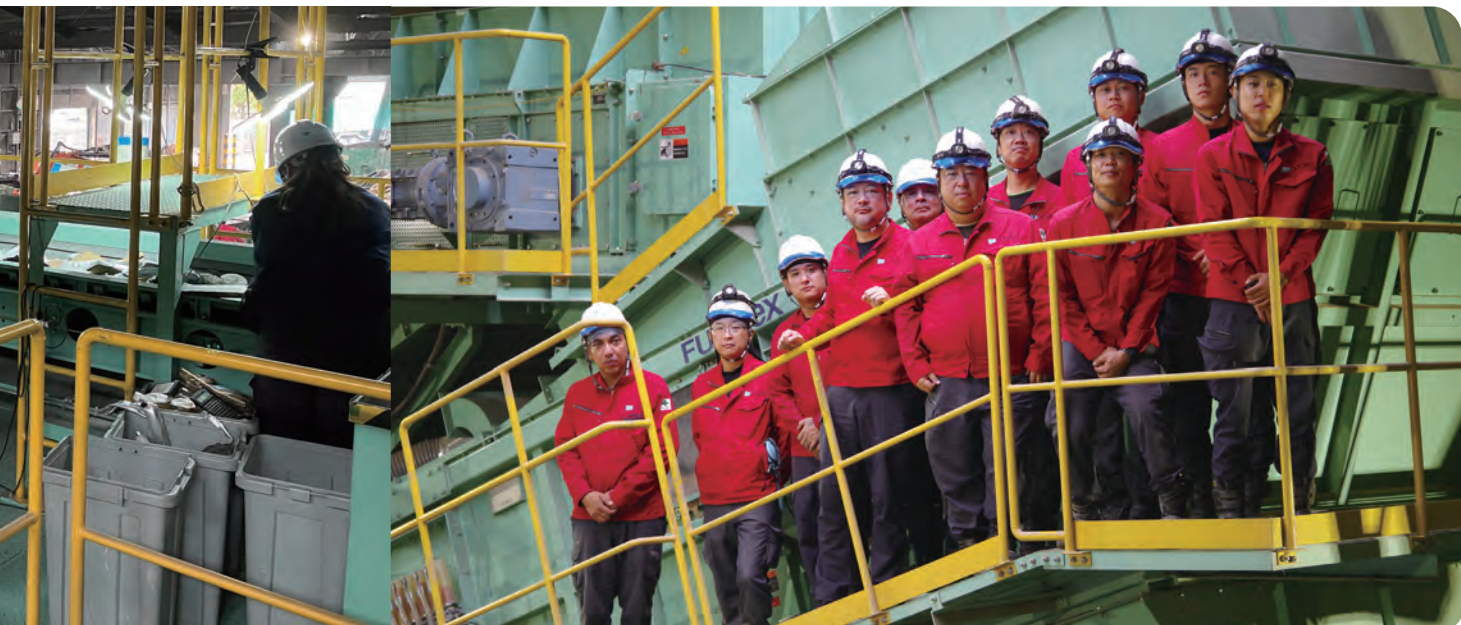
木材チップとして売却
(製紙原料用・燃料用)

D棟 廃プラスチック類の破碎 及び圧縮処理施設

軟質系の廃プラスチック類は破碎、圧縮処理を
行った後、固形燃料等々にリサイクルされます。



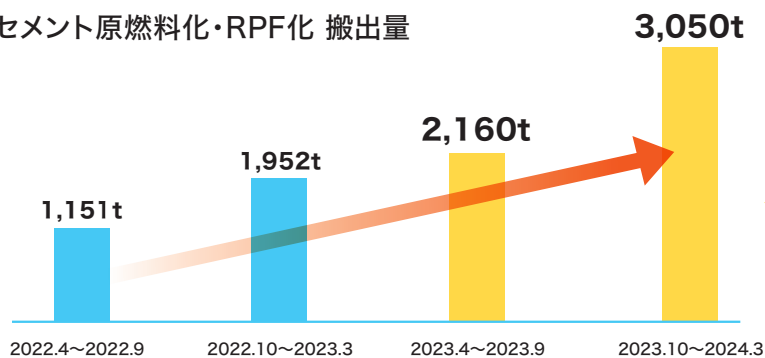
セメント原燃料へ
リサイクル



再資源化率の向上

石炭の価格高騰の中、その代替燃料となるプラスチックの需要はますます高まっています。

■ セメント原燃料化・RPF化 搬出量



前年対比
156%



service1

廃棄物処理事業

P54-P55

お客様のニーズに合わせた廃棄物処理を提案

■ 収集運搬事業

■ 少量廃棄物プラン

- 〈エコ回収BOX〉
- 〈機密書類リサイクルサービス〉
- 〈水銀含有廃棄物サブスクリプション〉
- 〈害虫駆除〉〈グリストラップ〉
- 〈感染性廃棄物〉

当社では、事業系一般廃棄物や産業廃棄物の収集・処分を行っています。産業廃棄物は排出量に応じて最適な収集方法をご提案します。

コンテナでの引取りはもちろん、専用段ボール箱を使用した少量廃棄プランなどもご用意しておりますので、設置スペースや排出量に不安がある方もお気軽にご相談ください。



service2

PCBトータルサポート事業

P56-P57

調査から処分までワンストップで対応可能

- 低濃度PCBの収集運搬
- PCB含有機器の調査
- PCBワンストップサービス

特別管理産業廃棄物に該当するPCBはあらゆる機器に使用されています。

当社ではPCB含有の有無を調べる機器調査という業務も行っております。またPCB含有機器の処理業務も承っており、調査から処分までワンストップでの対応が可能です。



service3

環境ソリューション事業

P58-P59

お客様の様々な環境リスクを解決サポート

- アスベスト
- 太陽光パネル
- サーキュラーエコノミーの推進
- 廃棄物コンサルティング業務

日本社会が直面するあらゆる環境問題を共に解決いたします。

当社の許可品目外の廃棄物もネットワークを駆使し、環境負荷の低減をより意識した処理方法をご提案いたします。どんな廃棄物もまずは近畿環境保全(株)にご相談ください。



service4

ホーム/オフィスサポート事業

P60-P61

個人様から企業様の暮らしをサポート

- 不用品の回収・買取サービス
- らくピカのサービス
- 草津市特例制度

ご家庭やオフィスで不要になった家財道具の回収、または買い取りを行っています。

一方で不要になったものを次の担い手へ繋ぐことで、廃棄物を減らし自然環境への負担を軽減していきます。またその他に、ハウスクリーニングやリフォーム・解体工事など暮らしに寄り添ったサービスを展開しています。



【収集運搬事業】

産業廃棄物トータルサポート

ニーズに合わせた最適な処理方法をご提案

近畿環境保全(株)では、お客様のニーズに合わせた様々な提案が可能です。当グループの中間処理施設である(株)湖南リサイクルセンターでの処分はもちろん、全国各地の優良な産業廃棄物処理業者と連携し、最適な処理方法をワンストップでご提案します。

【許可品目】

- 燃え殻 ● 汚泥 ● 廃油 ● 廃酸 ● 廃アルカリ ● 廃プラスチック類 ● 紙くず ● 木くず ● 繊維くず
- 動植物性残渣 ● ゴムくず ● 金属くず ● ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず ● 鉱さい
- がれき類 ● ばいじん ● 石綿含有産業廃棄物等 ● 水銀使用製品産業廃棄物等 ● 水銀含有ばいじん等
- 腐食性廃酸 ● 腐食性廃アルカリ ● 特定有害廃酸 ● 特定有害廃アルカリ ● 感染性産業廃棄物
- 特定有害廃石綿等 ● 廃PCB等(低濃度PCBに限る) ● PCB汚染物(低濃度PCBに限る)

詳細は P63 へ



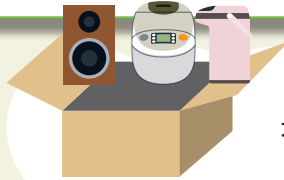
【少量廃棄物プラン】

エコ回収BOX

使い方の詳細



「保管場所やコンテナを置くスペースがない」「こまめに処分したい」という排出業者様向けに最適な回収サービス



購入いただいた「エコ回収BOX」に不用品を入れてご連絡いただければ回収に伺います。



コンプライアンスもばっちり!

回収した不用品は、自社工場にて適正に処分します。

家電・食器もOK!

家電製品や食器類など処分しづらい不用品も回収します。

省スペース!

電話1本で1箱から回収に伺います。不用品を置いておく場所がない方に便利です!

機密書類リサイクルサービス

段ボールに詰めていただくだけで、機密書類を情報漏洩せず処理

機密書類をファイルに綴じたまま段ボールに入れるだけです!



積込

未開封のまま処分場へ



破碎・圧縮

安全に破碎・圧縮処理をして



溶解

紙繊維

残渣物

再利用

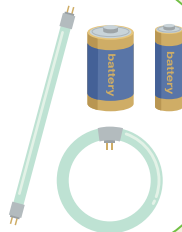
紙製品

ボイラー燃料
製鉄原料

ファイルやバインダーに綴じたままでも回収可能ですので分別の手間がかかりません。搬入先の工場はプライバシーマークやISO/IEC27001を取得しており、セキュリティ体制は万全です。処理終了後は機密抹消証明書を発行します。

水銀含有廃棄物サブスクリプション

少量の排出業者様向けに蛍光灯や乾電池等を定期的に廃棄できるサブスクリプションです。



害虫駆除

全自動の害虫駆除機を設置し、定期的に薬剤噴霧を実施します。置くだけ簡単で、高い駆除率を実現し、害虫を見ない環境作りに貢献します。

専用サイト



グリストラップ

グリストラップの清掃や吸引業務、専用ケースでの処理業務も対応が可能です。



専用ケース(サイズ 20ℓ)

感染性廃棄物

医療施設等から排出される感染性廃棄物も各種専用ケースにて1箱から回収可能です。



対象物

- 注射針 ●縫合針 ●輸血・血液バッグ ●メス刃
- 血液等含んだアルコール綿・ガーゼ・包帯 など

低濃度PCB廃棄物収集運搬

搬出作業から処理まで一貫してサポート

近畿環境保全(株)では2021年に低濃度PCB収集運搬許可を取得し、数多くのご依頼をいただいております。対象機器は変圧器、コンデンサ等の汚染物に加え、塗膜くずも対応可能です。

保管されている機器はもちろん、キュービクル内や屋上など搬出が困難な場合や筐体の抜油・解体が必要な場合も対応が可能です。当社で収集運搬許可が無いエリアでも、協力業者を通じてのご提案が可能です。



低濃度PCB収集運搬 作業フロー



許可エリア

●滋賀県 ●京都府 ●大阪府 ●兵庫県 ●奈良県 ●和歌山県 ●岐阜県 ●愛知県 ●三重県 ●鳥取県 ●愛媛県

JPTAへの加盟



近畿環境保全(株)は、「一般社団法人日本PCB全量廃棄促進協会」(JPTA)に加盟しています。PCB使用製品の全数調査・分別調査・廃棄処理を進め、保管事業者の負担軽減を図り、1日も早いPCBの全量廃棄を目指し、安心して暮らせる環境の確保に貢献します。

PCBの調査だけでなく、低濃度PCB廃棄物の収集運搬、処理、分析業務もご相談ください!トータルでサポートさせていただきます。

PCBトータルコーディネイトは
全国対応いたします!



web相談
受付中!
お気軽に
ご相談ください

PCB含有機器調査

PCBの全廃に向けたサポート業務

敷地内に存在するPCB含有の疑いがある機器は、使用中の機器を含めて期限までに処分しなければなりません。自社にPCB含有の機器は無いと報告されている企業でも、新たに発見される事例が多発しています。近畿環境保全(株)ではPCB含有の疑いのある機器の掘り起こし調査を行っています。

主な対象物

自家用電気工作物

- 変圧器
- 電力用コンデンサ
- 開閉器
- リアクトル等



非自家用電気工作物

- X線装置
- 溶接機
- コンプレッサー
- 制御盤
- 配電盤等



PCBワンストップサービス

PCBの含有調査、分析業務、機器の搬出、収集運搬から処分まで、PCBに関する全ての業務をワンストップで対応します。また、補助金の申請や行政への届出など書類のサポート、新しい設備の導入も併せて提案します。

採取・分析

使用中の機器や保管されている機器の出張採取も対応可能です。その後、分析業者を通じて報告書を提出します。



PCB非含有機器処分

変圧器、コンデンサなど低濃度PCB廃棄物に該当しない機器の処理も対応可能です。

筐体の抜油作業も実施しており、大型機器の引取りにも対応しています。

高濃度PCB廃棄物

高濃度PCBが新たに発見された場合、適正に保管する必要があります。

当社では荷姿作成業務、行政への届出書類の作成代行も実施しています。

セミナー

取引先や協会団体などステークホルダーからの要望にあわせて、個別セミナーを随時開催しています。PCBについて詳しく知りたい、PCB全廃に向けてのアドバイスがほしいなど、どのような内容でも受け付けております。



低濃度PCB処分期限：令和9年3月31日まで

PCBとは

PCBとはPoly Chlorinated Biphenyl(ポリ塩化ビフェニル)の略称で、電気機器の絶縁油、熱交換器の熱媒体、ノンカーボン紙など様々な用途で利用されてきました。後に有毒であることが判明し、1972年以降は製造や新たな使用が禁止されています。ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法で、令和9年3月31日までに適正処理することが定められています。

アスベストトータルサポート

アスベストに関わる全ての業務をワンストップ

アスベスト（石綿）の事前調査・分析業務・収集運搬から処分までをトータルサポートします。処理に関してはゼロエミッションリサイクルの提案も可能です。

▶アスベスト収集運搬 作業フロー



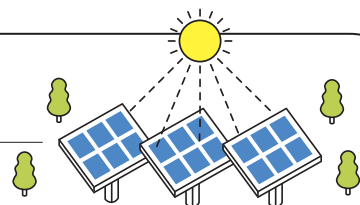
2023年10月以降に着工する建築物の解体・改修工事は、有資格者がアスベストの有無の事前調査をすることが義務付けられています。工事前にアスベストの有無を調べて、安全に工事を進められるようにすることが目的です。

右記のような一定規模以上の工事は事前調査結果の報告が必要となります

- ① 解体部分の述べ床面積が80㎡以上の建築物の解体工事
- ② 請負金額が税込100万円以上の建築物の改修工事
- ③ 請負金額が税込100万円以上の特定の工作物の解体または改修工事

太陽光パネル

太陽光パネルのゼロエミッションリサイクル

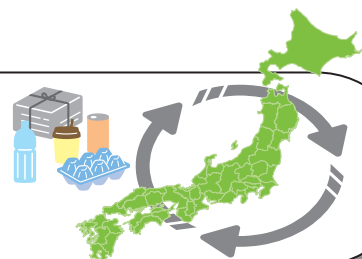


廃棄される太陽光パネルは2040年頃に大量に発生することが予想されます。当グループでは、処分業者と連携し、太陽光パネルのゼロエミッションリサイクルを行います。

また、内部破損の無い太陽光パネルは買取し、再利用することも可能です。

サーキュラーエコノミーの推進

産業廃棄物の資源循環



当グループはサーキュラーエコノミーに取り組んでいます。廃棄物を資源として国内循環するうえで、どのような課題を抱えているのかお伺いします。

例えば、サーマルリカバリーされている複合物の解体・選別作業をご提案することで、作業後の資源のマテリアルリサイクルやケミカルリサイクルを行い、トレーサビリティを確保したフローを実現します。

廃棄物コンサルティング業務

廃棄物管理や循環型社会に向けた仕組みづくりの支援

当グループは創業以来60年以上にわたって数多くの廃棄物の適正処理・リサイクルに貢献してきました。

時代に応じて日々変化する法規制や社会的な要請に基づく中で培ってきたノウハウで、廃棄物管理や、循環型社会に向けた仕組みづくりを支援します。



▶一元管理業務

① 廃棄物管理サポート

処理フローの構築、
煩雑な事務作業の低減

② 優良処理業者の紹介

様々なネットワークを活用し、
安心安全な業者との取引が実現

③ 窓口業務一本化

廃棄物業務にかかる実務、
大量の書類管理を効率化

▶分析・フロン・搬出業務 廃棄物処理以外にも協力業者を通じて様々な業務にも対応しています。

〈分析業務〉汚泥や燃え殻、鉱さいなど産業廃棄物処理に伴う分析

〈重量物搬出業務〉大型機器の搬出・解体

〈フロン回収業務〉業務用機器に充填された冷媒回収・破壊

〈汚染土壌処理業務〉土壌調査から分析、処理

▶特殊な廃棄物の対応

X線装置

X線装置にはPCB、ベリリウム、鉛といった有害物質が含まれている可能性があります。

通常の産業廃棄物としては処理が難しいですが、当社では解体作業含め、一括した処理提案が可能です。

鉛含有廃棄物

鉛を含有した代表的な廃棄物として鉛バッテリーや黒鉛があります。

耐久性が高い為、塗料などにも使用されていました。当社では適正処理の提案が可能です。



X線装置



エコスタッフ・ジャパン

廃棄物処理・リサイクル「安心・安全」の全国ネットワーク

当グループは、2011年より優良な廃棄物処理・リサイクル企業の全国ネットワークであるエコスタッフ・ジャパンに加盟し、現在では約60社が認定企業として活動しています。全国各地の様々な廃棄物もネットワークを使用し、安心・安全な処理の提案が可能です。

不用品の回収・買取サービス

回収から買取までを一括で合わせたサービスのご提案

不用品の回収・買取も 近畿環境保全(株)へ!

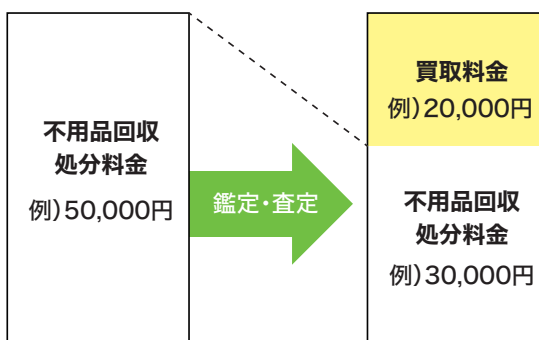
買取
強化中!



回収から買取までワンストップでご提案!

ワンストップ対応のメリット

- 不要な物が売れる
- 買取金額で処分料金が安くなる
- まだ使えるものはリユース
- リサイクルショップで
売る手間が省けて時短になる



軽トラックプラン

1DK、1人暮らしの家具・電化製品など
● 軽トラック1台 ● スタッフ2名

2t 車プラン

1LDK ~ 2LDK程の生活家具など
● 2tトラック1台 ● スタッフ2名

4t 車プラン

大型家具・家電製品などたくさんの不用品
● 4tトラック1台 ● スタッフ2名



らくピカのサービス



「らくピカ」はご自宅やオフィスでの快適な暮らしを、強力にサポートするプロ集団です

くらしのことは らくピカにお任せください!!



お掃除や庭木の剪定、リフォーム、大型ゴミの回収をはじめ、お住まいのことなら何でもご相談ください。各サービスのプロが卓越した技術で皆様一人おひとりのご要望にお応えします。お客様が気持ちよく安心してご相談いただけるよう、お客様目線に立ち、親切・迅速・丁寧に対応します。また、大小に関わらずどんなお仕事でも真心を込めてお仕事をさせていただき、みなさんのくらしのスッキリを応援します!!



リフォーム

キッチンやお風呂の
取り替えから、
内装・外装工事まで



ハウスクリーニング

レンジフード・エアコン・
浴槽・換気扇・
キッチン・トイレなど



お庭のお手入れ

庭木剪定から芝刈り、
除草、造園、外構工事まで



戸建解体

解体～廃材処理まで
一貫施工!
大幅な費用削減が可能

面倒な“家庭廃棄物確認依頼書”の提出を代行します!

らくピカ
お問合せ先



受付時間 9:00～17:00
0120-960-855



24時間受付可
rakupika@kin-kan.co.jp

近畿環境保全株式会社 【本社】〒525-0041 滋賀県草津市青地町196 FAX 077-567-3767

専用サイト



草津市の一般家庭ごみ収集代行サービス

お客様の要望に合わせたサービスを提供

近畿環境保全(株)では、草津市内から出される一般家庭ごみの収集代行業務を行っております。草津市内の家庭から一時的に大量にごみが出る場合、対象者に限り、市の定期収集やクリーンセンターへの直接搬入以外に、当社にて収集運搬を行うことが可能です。

見積りは無料です。お問い合わせいただきましたらすぐに現場にお伺いし、お客様の要望に合わせたサービスをご提案します。

制度の対象者

- (1)同居者のない者の遺品整理をする方
- (2)世帯員全員が次の①から③に掲げる者のみで構成される世帯

①高齢者(満65歳以上の方)②障害者

③要介護認定を受けている方

(40歳以上65歳未満の要介護者も対象です。)

※要介護状態区分が要支援の方は除きます。
上記のいずれかに該当される方が対象です。

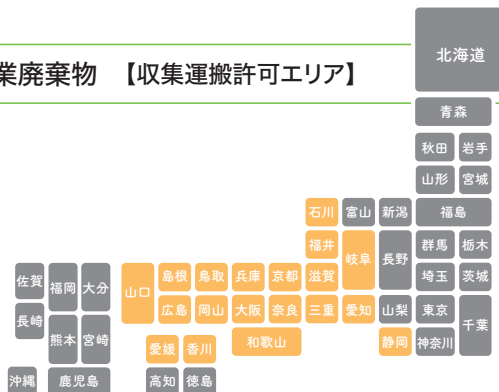
幅広い産廃許可の取得で適正処理を実現

当グループは産業廃棄物収集運搬、特別管理産業廃棄物収集運搬、事業系一般廃棄物収集運搬、産業廃棄物と一般廃棄物の中間処理業の許可を幅広く取得しており、2024年現在も低濃度PCBの収集運搬エリアの拡大を行っています。

現在、許可エリアの内、16府県において優良認定をいただいております。他県においても許可更新の際に優良認定を申請していきます。

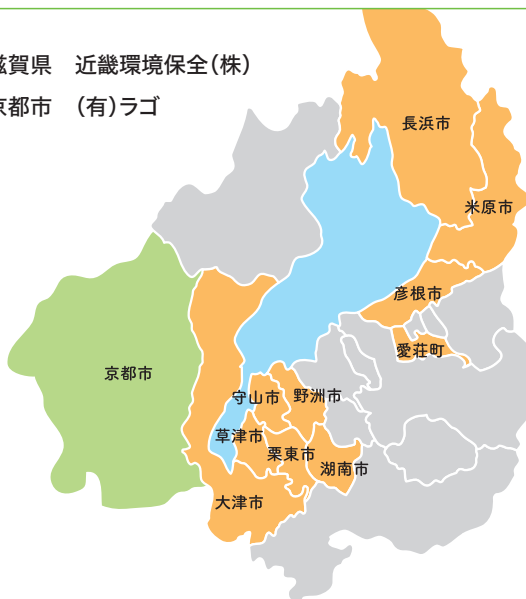
優良産業廃棄物処理業者として厳しい基準に適合しながら、お客様により安心していただけるようなサービスを提供できるよう、日々の適正処理に取り組んでいます。また、許可エリア品目以外においてもネットワークを活用したご提案が可能ですのでお問い合わせください。

産業廃棄物 【収集運搬許可エリア】



一般廃棄物 【収集運搬許可エリア】

- ... 滋賀県 近畿環境保全(株)
- ... 京都市 (有)ラゴ



産廃情報ネット「さんぱいくん」

当社の最新の許可情報についてはwebで随時公開しています！



<https://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/>



優良産廃処理業者認定制度とは

優良産廃処理業者認定制度とは、通常の許可基準より厳しい基準に適合した優良な産廃処理業者を都道府県・政令市が審査し認定する制度です。

優良許可基準

- ① 遵法性
- ② 事業の透明性
- ③ 環境配慮の取り組み
- ④ 電子マニフェスト
- ⑤ 財務体質の健全性

優良認定を受けている府県

※詳しくは環境省のHPでご確認ください。

- 石川県
- 福井県
- 岐阜県
- 静岡県
- 愛知県
- 三重県
- 滋賀県
- 京都府
- 大阪府
- 兵庫県
- 奈良県
- 和歌山県
- 岡山県
- 広島県
- 山口県
- 香川県

許可エリア【許可都道府県及び許可品目】

※2024年9月現在

<近畿環境保全(株) 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物 収集運搬業許可一覧>

	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	石綿含有産業廃棄物等	水銀含有ばいじん等	水銀使用製品産業廃棄物等	廃油	腐食性廃酸	腐食性廃アルカリ	特定有害廃酸	特定有害廃アルカリ	感染性産業廃棄物	特定有害廃石綿等	廃PCB等(低濃度PCBに限る)	PCB汚染物(低濃度PCBに限る)	廃水銀等	
石川県	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○											
福井県	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○					○	○											
岐阜県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								○	○	○	○			○	○	○	
静岡県						○	○	○	○	○		○	○																	
愛知県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								○	○	○	○			○	○	○	
三重県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								○	○	○	○			○	○	○	
滋賀県	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
京都府	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								○	○	○	○			○	○	○	
京都市	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎																	
大阪府	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								○	○	○	○			○	○	○	
兵庫県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							☆	○	○	○	○			○	○	○	☆
奈良県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								○	○	○	○			○	○	○	
和歌山県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○			○	○	○		
岡山県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																	
広島県		○				○	○	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○							
山口県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																	
香川県						○	○	○	○	○	○	○	○																	
鳥取県																											○	○		
愛媛県																											○	○		
島根県	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○																	

○…産業廃棄物収集運搬業許可取得 ◎…積み替え保管の許可もある品目 ☆…申請中

一般廃棄物 収集運搬業

近畿環境保全(株)	大津市、草津市、湖南市、彦根市、守山市、野洲市、栗東市、愛知郡愛荘町、湖北広域
(有)ラゴ	京都市

許可品目【処分業許可一覧】

近畿環境保全(株) <草津資源循環センター 中間処理>	破砕	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
近畿環境保全(株) <石部営業所 中間処理>	選別	汚泥(有機汚泥に限る)、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、動植物性残渣、金属くず
	一般廃棄物処分業	食品不要物(野菜くず、パン類、麺類、弁当類、液体食品類)
(株)湖南リサイクルセンター <中間処理>	破砕	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
	圧縮	廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、金属くず
	一般廃棄物処分業	粗大ごみ、不燃ごみ、木くず、刈草、剪定木くず

収集運搬用車両

NEW!
ユニック付
平ボディ車 9t
(1台)

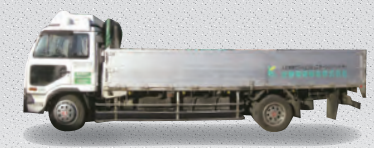


種類 コンテナ車 2t・3t・4t・9t・10t

特徴 荷台がコンテナになっていて、そのまま降ろして設置できます。用途に合わせたサイズのコンテナを運搬いたします。重量のある汚泥などを運ぶ増トン車もあります。

種類 ウイング車 4t・15t

特徴 リフトで廃棄物を積み込みます。段積みが可能のため、積み合わせに適しています。



種類 平ボディ車 9t

特徴 小さいコンテナやフレコンバッグなどの積み合わせが可能です。



種類 ユニック付平ボディ車 4t・9t

特徴 ユニックで吊り上げて積み込むため、リフトがなくても積み込み可能です。



種類 冷蔵冷凍車 3t

特徴 最適温度を保持する冷蔵車です。主に食品廃棄物の運搬に利用しています。

■ 回収容器一覧 コンテナを使用した定期回収、スポット回収などお問合せください！

	<p>24^m コンテナ</p> 	<p>8^m コンテナ</p> 	<p>6^m コンテナ</p> 	<p>4^m コンテナ</p> 
外寸(m) 長さ×幅×高さ	6.1×2.5×2.1	3.9×2.1×1.4	3.9×2.1×1.1	2.8×1.7×1.16
容量	24 ^m	8 ^m	6 ^m	4 ^m

廃棄物の種類に合わせた多彩なコンテナと最適な車両を手配し、お客様のもとへ伺います。
お客様のニーズに幅広く対応できるよう車両のラインナップを充実させています。

NEW!
ダンプ車 10t
(1台)



種類 **パッカー車 3t・4t・9t**

特徴 重量が軽く、圧縮できる廃棄物を大量に積み込むことができます。主に一般廃棄物の回収で使う車両で、計量器や分別回収用BOXが付いている車両もあります。



種類 **アルミバン 2t・3t**

特徴 小口の産業廃棄物の回収等で使用しています。パワーゲート付の車両もあるので、かご台車の積み込みも可能です。

種類 **軽トラック/ハイエース/軽バン**

特徴 小口の産業廃棄物の回収等で使用しています。道路の狭い住宅地などでも小回りが利く回収ができます。

種類 **ダンプ車 10t**

特徴 中間処理後の廃棄物を、遠方にある最終処分先に運ぶための車両です。一度に大量の廃棄物が運べます。

<p>2㎡ コンテナ</p>  <p>1.6×1.5×1.2 2㎡</p>	<p>1.5㎡ コンテナ</p>  <p>1.9×1.0×1.0 1.5㎡</p>	<p>フレコン バッグ</p>  <p>1.0×1.0×1.0 1㎡</p>	<p>エコ回収 ボックス</p>  <p>0.35×0.52×0.35 60ℓ</p>	<p>グリストラップ 容器</p>  <p>0.3×0.2×0.36 20ℓ</p>
---	---	--	---	--

キンカングループ パフォーマンスデータ

近畿環境保全(株)

決算情報	単位	47期 2022年4月末	48期 2023年4月末	49期 2024年4月末
売上高	千円	936,087	999,338	1,030,327
営業利益	千円	-5,802	9,028	4,783
経常利益	千円	28,297	9,174	27,163
当期純利益	千円	24,400	3,941	15,553
寄付による社会貢献活動	千円	400	0	460

社員データ	単位	47期 2022年4月末	48期 2023年4月末	49期 2024年4月末
全社員数	全体 人	59	58	58
	男性 人	38	37	36
	女性 人	21	21	22
終身雇用の社員 ※48期より計上開始	全体 人	-	47	49
	男性 人	-	31	34
	女性 人	-	16	15
有期雇用の社員 (嘱託社員、期間社員) ※48期より計上開始	全体 人	-	4	1
	男性 人	-	4	1
	女性 人	-	0	0
パートタイムの社員 ※48期より計上開始	全体 人	-	7	8
	男性 人	-	2	1
	女性 人	-	5	7
再雇用人数	全体 人	2	2	1
	男性 人	2	2	1
	女性 人	0	0	0
役職者の人数	全体 人	13	11	14
	男性 人	13	11	11
	女性 人	0	0	3
平均年齢	全体 歳	41.3	40.94	41.78
	男性 歳	43.7	45.37	44.03
	女性 歳	37.6	33.5	38.09
勤続年数	全体 年	7	6.8	7.0
	男性 年	8.7	8.56	8.42
	女性 年	3.9	3.9	4.73
採用人数	全体 人	10	8	10
	男性 人	4	3	7
	女性 人	6	5	3
離職人数	全体 人	11	12	11
	男性 人	8	5	9
	女性 人	3	7	2
育児制度利用者数	全体 人	1	0	4
	男性 人	0	0	2
	女性 人	1	0	2
育児休業を取得する権利を有していた 従業員の総数 ※当社規定をもとに 雇用保険に加入している人数をカウント	全体 人	52	47	56
	男性 人	36	31	36
	女性 人	16	16	20
育児休業を取得した 従業員の総数	全体 人	1	0	4
	男性 人	0	0	2
	女性 人	1	0	2
報告期間中に育児休業から 復職した従業員の総数	全体 人	1	0	2
	男性 人	0	0	2
	女性 人	1	0	0
育児休業から復職した後、 12ヶ月経過時点で在籍している 従業員の総数	全体 人	1	0	3
	男性 人	0	0	0
	女性 人	1	0	3
育児休業後の従業員の 復職率および定着率	全体 %	100	100	100
	男性 %	-	-	100
	女性 %	100	100	100
女性役職者比率	%	0	0	21.4
労働者一人当たりの平均所定内労働時間	時間/月	176		145.5
労働者一人当たりの平均所定外労働時間 ※早出・残業・休日出勤等の実労働時間数	時間/月	4.5	6.2	7.3
労働関連の傷害による死亡者の割合	%	0	0	0
重大結果につながる労働関連の障害者の割合 (死亡者を除く)	%	0	0	0
労働関連の疾病・体調不良	人	0	0	0
従業員一人当たりの研修受講時間	時間	-	-	212.5
従業員一人当たりの研修受講費用	円	71,590	450,195	979,930

(株) 湖南リサイクルセンター

決算情報	単位	21期 2022年2月末	22期 2023年2月末	23期 2024年2月末
売上高	千円	392,742	424,209	478,541
営業利益	千円	34,913	5,577	8,351
経常利益	千円	33,632	1,826	3,598
当期純利益	千円	26,429	2,453	3,562
寄付による社会貢献活動	千円	0	0	0

社員データ	単位	21期 2022年2月末	22期 2023年2月末	23期 2024年2月末
全社員数	全体 人	13	17	26
	男性 人	9	10	12
	女性 人	4	7	14
終身雇用の社員 ※22期より計上開始	全体 人	-	4	5
	男性 人	-	4	5
	女性 人	-	0	0
有期雇用の社員 (嘱託社員、期間社員) ※22期より計上開始	全体 人	-	4	4
	男性 人	-	4	4
	女性 人	-	0	0
パートタイムの社員 ※22期より計上開始	全体 人	-	9	17
	男性 人	-	2	3
	女性 人	-	7	14
再雇用人数	全体 人	0	0	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	0	0
役職者の人数	全体 人	2	3	3
	男性 人	2	3	3
	女性 人	0	0	0
平均年齢	全体 歳	42.3	45.73	46.63
	男性 歳	58.5	50.09	49.58
	女性 歳	44.25	39.75	44.27
勤続年数	全体 年	7.5	5.31	4.48
	男性 年	9.8	7.81	8.00
	女性 年	3.5	1.875	1.67
採用人数	全体 人	0	20	18
	男性 人	0	7	5
	女性 人	0	13	13
離職人数	全体 人	0	6	18
	男性 人	0	2	8
	女性 人	0	4	10
育児制度利用者数	全体 人	0	0	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	0	0
育児休業を取得する権利を有していた 従業員の総数 ※当社規定をもとに 雇用保険に加入している人数をカウント	全体 人	8	8	11
	男性 人	8	8	9
	女性 人	0	0	2
育児休業を取得した 従業員の総数	全体 人	0	0	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	0	0
報告期間中に育児休業から 復職した従業員の総数	全体 人	0	0	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	0	0
育児休業から復職した後、 12ヶ月経過時点で在籍している 従業員の総数	全体 人	0	0	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	0	0
育児休業後の従業員の 復職率および定着率	全体 %	-	-	-
	男性 %	-	-	-
	女性 %	-	-	-
女性役職者比率	%	0	0	0
労働者一人当たりの平均所定内労働時間	時間/月	139.4	134.48	55.5
労働者一人当たりの平均所定外労働時間 ※早出・残業・休日出勤等の実労働時間数	時間/月	0.4	0.78	0.5
労働関連の傷害による死亡者の割合	%	0	0	0
重大結果につながる労働関連の障害者の割合 (死亡者を除く)	%	0	0	0
労働関連の疾病・体調不良	人	0	0	0
従業員一人当たりの研修受講時間	時間	-	3	31
従業員一人当たりの研修受講費用	円	-	15,000	49,000

(有)ラゴ

決算情報	単位	17期 2021年8月末	18期 2022年8月末	19期 2023年8月末
売上高	千円	52,339	52,159	53,156
営業利益	千円	3,192	5,166	925
経常利益	千円	3,758	5,445	1,215
当期純利益	千円	2,827	4,083	908
寄付による社会貢献活動	千円	0	0	0

社員データ	単位	17期 2021年8月末	18期 2022年8月末	19期 2023年8月末
全社員数	全体 人	2	2	2
	男性 人	2	2	2
	女性 人	0	0	0
終身雇用の社員 ※19期より計上開始	全体 人	-	-	2
	男性 人	-	-	2
	女性 人	-	-	0
有期雇用の社員 (嘱託社員、期間社員) ※19期より計上開始	全体 人	-	-	0
	男性 人	-	-	0
	女性 人	-	-	0
パートタイムの社員 ※19期より計上開始	全体 人	-	-	0
	男性 人	-	-	0
	女性 人	-	-	0
再雇用人数	全体 人	0	0	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	0	0
役職者の人数	全体 人	0	1	1
	男性 人	0	1	1
	女性 人	0	0	0
平均年齢	全体 歳	45.5	45.5	46.5
	男性 歳	45.5	45.5	46.5
	女性 歳	-	-	-
勤続年数	全体 年	8.5	8.5	9.5
	男性 年	8.5	8.5	9.5
	女性 年	-	-	-
採用人数	全体 人	0	0	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	0	0
離職人数	全体 人	0	2	0
	男性 人	0	2	0
	女性 人	0	0	0
育児制度利用者数	全体 人	0	0	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	0	0
育児休業を取得する権利を有していた 従業員の総数 ※当社規定をもとに 雇用保険に加入している人数をカウント	全体 人	2	2	2
	男性 人	2	2	2
	女性 人	0	0	0
育児休業を取得した 従業員の総数	全体 人	0	0	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	0	0
報告期間中に育児休業から 復職した従業員の総数	全体 人	0	0	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	0	0
育児休業から復職した後、 12ヶ月経過時点で在籍している 従業員の総数	全体 人	0	0	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	0	0
育児休業後の従業員の 復職率および定着率	全体 %	-	-	-
	男性 %	-	-	-
	女性 %	-	-	-
女性役職者比率	%	0	0	0
労働者一月当たりの平均所定内労働時間	時間/月	139	137	207.9
労働者一月当たりの平均所定外労働時間 ※早出・残業・休日出勤等の実労働時間数	時間/月	10.1	2.4	15.1
労働関連の傷害による死亡者の割合	%	0	0	0
重大結果につながる労働関連の障害者の割合 (死亡者を除く)	%	0	0	0
労働関連の疾病・体調不良	人	0	0	0
従業員一人当たりの研修受講時間	時間	-	-	-
従業員一人当たりの研修受講費用	円	-	-	-

キンカンビジネスアソシエーツ(株)

決算情報	単位	3期 2021年5月末	4期 2022年5月末	5期 2023年5月末
売上高	千円	36,276	96,800	108,700
営業利益	千円	-2,002	1,292	1,133
経常利益	千円	-780	1,559	1,458
当期純利益	千円	-852	1,487	1,386
寄付による社会貢献活動	千円	0	174	600

社員データ	単位	3期 2021年5月末	4期 2022年5月末	5期 2023年5月末
全社員数	全体 人	24	25	35
	男性 人	13	12	22
	女性 人	11	13	13
終身雇用の社員 ※5期より計上開始	全体 人	-	-	6
	男性 人	-	-	3
	女性 人	-	-	3
有期雇用の社員 (嘱託社員、期間社員) ※5期より計上開始	全体 人	-	-	4
	男性 人	-	-	4
	女性 人	-	-	0
パートタイムの社員 ※5期より計上開始	全体 人	-	-	4
	男性 人	-	-	1
	女性 人	-	-	3
再雇用人数	全体 人	0	0	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	0	0
役職者の人数	全体 人	2	2	2
	男性 人	2	2	2
	女性 人	0	0	0
平均年齢	全体 歳	31.8	31.36	30.12
	男性 歳	33.4	32.8	28.28
	女性 歳	30.4	28.7	33.63
勤続年数	全体 年	3.3	3.1	1.81
	男性 年	3.4	3.8	2.09
	女性 年	2.7	2.5	1.27
採用人数	全体 人	4	4	19
	男性 人	0	2	12
	女性 人	4	2	7
離職人数	全体 人	5	4	11
	男性 人	0	2	4
	女性 人	5	2	7
育児制度利用者数	全体 人	0	0	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	0	0
育児休業を取得する権利を有していた 従業員の総数 ※当社規定をもとに 雇用保険に加入している人数をカウント	全体 人	3	5	7
	男性 人	3	2	5
	女性 人	0	3	2
育児休業を取得した 従業員の総数	全体 人	0	0	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	0	0
報告期間中に育児休業から 復職した従業員の総数	全体 人	0	0	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	0	0
育児休業から復職した後、 12ヶ月経過時点で在籍している 従業員の総数	全体 人	0	0	0
	男性 人	0	0	0
	女性 人	0	0	0
育児休業後の従業員の 復職率および定着率	全体 %	-	-	-
	男性 %	-	-	-
	女性 %	-	-	-
女性役職者比率	%	0	0	0
労働者一月当たりの平均所定内労働時間	時間/月	48.4	47.6	53.9
労働者一月当たりの平均所定外労働時間 ※早出・残業・休日出勤等の実労働時間数	時間/月	0.2	0.1	0.3
労働関連の傷害による死亡者の割合	%	0	0	0
重大結果につながる労働関連の障害者の割合 (死亡者を除く)	%	0	0	0
労働関連の疾病・体調不良	人	0	0	0
従業員一人当たりの研修受講時間	時間	-	-	-
従業員一人当たりの研修受講費用	円	-	-	-

キンカングループ 事故発生件数一覧

対象組織	事故件数	対策
KINKANGROUP	27	
近畿環境保全(株)	23	
管理部	0	●消防訓練に2名参加。
営業部	0	●営業車の車両点検を毎日実施。スプレッドシートへの記入と写真提出を徹底。
環境事業部物流課	23	<ul style="list-style-type: none"> ●アルコールチェックと免許証確認を毎日実施。 ●事故後のドライバーミーティングで、内容の共有と原因の追及を行い、再発防止対策を検討。 ●定期的な安全教育と訓練の実施により、従業員の安全意識を向上。 ●車両点検の徹底と適切な整備を行い、事故の発生を防止。 ●緊急時の対応マニュアルを整備し、迅速な対応が可能な体制を構築。
環境事業部施設課	0	
リユース事業部	0	
(株)湖南リサイクルセンター	4	<ul style="list-style-type: none"> ●事故、火災後にミーティングを行い、内容の共有と再発防止策を検討して共有。 ●各処理棟で12月、3月、4月に火災消火避難訓練を実施。 ●施設内の「止まれ」や「横断歩道」の白線の工事。 ●処理施設の機器点検を定期的に行い、故障や漏洩を防止。 ●廃棄物の混合禁止など、適正な分別管理を徹底。
(有)ラゴ	0	<ul style="list-style-type: none"> ●アルコールチェックと免許証確認を毎日実施。 ●事故後のドライバーミーティングで、内容の共有と原因の追及を行い、再発防止対策を検討。 ●定期的な安全教育と訓練の実施により、従業員の安全意識を向上。 ●車両点検の徹底と適切な整備を行い、事故の発生を防止。 ●緊急時の対応マニュアルを整備し、迅速な対応が可能な体制を構築。
キンカンビジネスアソシエイツ(株)	0	●業務提携先での安全対策に従う。

問合せ先一覧

近畿環境保全株式会社

本 社	〒525-0041 滋賀県草津市青地町196番地
グループ 管理本部	〒525-0027 滋賀県草津市野村1丁目3番2号 SKキューブ2-B TEL 077-564-1502 FAX 077-567-3767
営業本部	〒525-0032 滋賀県草津市大路2丁目13番27号 辻第3ビル5F TEL 077-561-5377 FAX 077-561-5388
石部営業所	〒520-3114 滋賀県湖南市石部口2丁目277番1号
京都営業所	〒601-8114 京都府京都市南区上鳥羽南鉾立町14番地2
リユース 事業部	〒601-8104 京都府京都市南区上鳥羽角田町55番地3

グループ総合お問い合わせ先

Email info@kin-kan.co.jp
TEL 0120-63-5390

公式HP

近畿環境保全株式会社
https://www.kin-kan.co.jp/



株式会社湖南リサイクルセンター
https://www.konan-rc.co.jp/



SNSはこちら!

キンカングループの情報を配信中!
ぜひチェックしてください!!

株式会社湖南リサイクルセンター

本 社	〒520-3114 滋賀県湖南市石部口3丁目6番13号 TEL 0748-77-8828 FAX 0748-77-8820
-----	--



instagram
@kinkangroup



X (旧Twitter)
@kinkan0611



有限会社ラゴ

本 社	〒525-0041 滋賀県草津市青地町196番地
京都営業所	〒601-8114 京都府京都市南区上鳥羽南鉾立町14番地2



YouTube
@kinkangroup4411



キンカンビジネスアソシエイツ株式会社

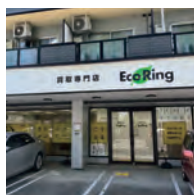
本 社	〒525-0041 滋賀県草津市青地町196番地
-----	--------------------------



LINE
@116qrgya



【店舗情報】 ※FC加盟会社:(株)パラレル



エコリング大津瀬田店
滋賀県大津市一里山2丁目2-1
LAGOSUL1階AB室
営業時間:11:00~18:30
定休日:水曜日・年末年始
電話番号:0120-877-850



エコリング草津店
滋賀県草津市西大路町4-33
シャルムシャトレ 103
営業時間:11:00~18:30
定休日:水曜日・年末年始
電話番号:0120-015-850



エコリング守山店
滋賀県守山市勝部1-16-35
守山アーバンライフテナント 101
営業時間:11:00~18:30
定休日:水曜日・年末年始
電話番号:0120-850-015



エコリング河原町丸太町店
京都市上京区依屋町463-4
フォース河原町 1F
営業時間:11:00~18:30
定休日:水曜日・年末年始
電話番号:0120-805-850



エコリング京都山科店
京都市山科区竹鼻西ノ口町45-4
THE GARNET SUITE RESIDENCE山科駅前
営業時間:11:00~18:30
定休日:水曜日・年末年始
電話番号:0120-158-850



エコリング京都駅前店
京都市下京区東洞院通七条上る
船屋町239-2 七条烏丸東ビル1階
営業時間:11:00~18:30
定休日:水曜日・年末年始
電話番号:0120-225-850



エコリング寝屋川店
大阪府寝屋川市池田三丁目8-18
営業時間:11:00~18:30
定休日:水曜日・年末年始
電話番号:0120-850-133



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**



KINKAN GROUP

キンカングループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

KINKAN GROUP 公式ホームページ

www.kin-kan.co.jp

本誌に載っていないサービス案内や採用情報などを掲載！
最新ニュースも随時更新しているのでぜひチェックしてください。



お客様アンケート

キンカングループについてのご意見をお寄せください。

